



TOSTEM リプラス マンション用 引違い窓

アングルカバー・見切材・テラス用アタッチメント・連窓方立カバー 組立て・取付け説明書

●組立て・取付けされる方に必ずお渡してください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …組立て・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



●アングルカバーの取付けはねじの締めすぎに注意してください。
電動ドライバー使用時は、0.5N・m (5kgf・cm)程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

取付け上のお願い

●上下のアングルカバーは端部キャップを付けた状態で取付けてください。

■部品一覧

アングルカバー

アングルカバー端部キャップ	アングルカバー取付けねじ
アングルカバー取付補助ブロック 上・縦用	皿タップピン1種φ4×12
	アングルカバー取付補助ブロック 下用
	※テラス用アタッチメントの場合は使用しません。

テラス用アタッチメント

テラス用アタッチメント端部キャップ	テラス用アタッチメント端部キャップ取付けねじ
	薄平木ねじ φ3.1×20

見切材

見切材コーナーピース両面テープ仕様	見切材取付けねじ
	皿木ねじφ3.1×20
見切材コーナーピースねじ止め仕様	見切材コーナーピース取付けねじ
	薄平木ねじφ3.1×20

アングルコーナーピース

アングルコーナーピース
※新設サッシ枠に同梱されています

有償品

施工調整スペーサー角材
10×15

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	ねじのゆるみ、ねじバカはないか	<input type="checkbox"/>

●2次元コードにアクセスいただくと、施工説明動画をご覧いただけます。動画は参考例になります。必ず説明書の手順を実施してください。



■取付けに使用する工具一覧

電動ドライバー ※1 トルク調整付	ドライバー(手回し) ※1 L
ドリル刃 ※1 φ2.0・φ3.4	直尺
ペンチ 	Pカッター
切断機 	シーリング材 変成シリコンをご使用ください

※1：アングルカバーの見付けが大きい納まりで見切材コーナーピースをねじ止めする場合は、ドリル、ビットのLは100mm以上をご用意ください。

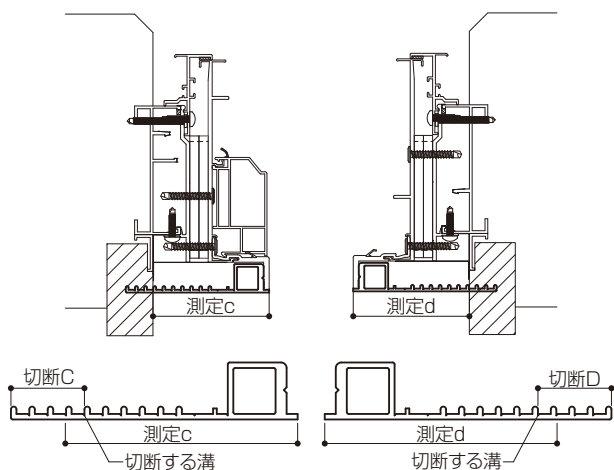
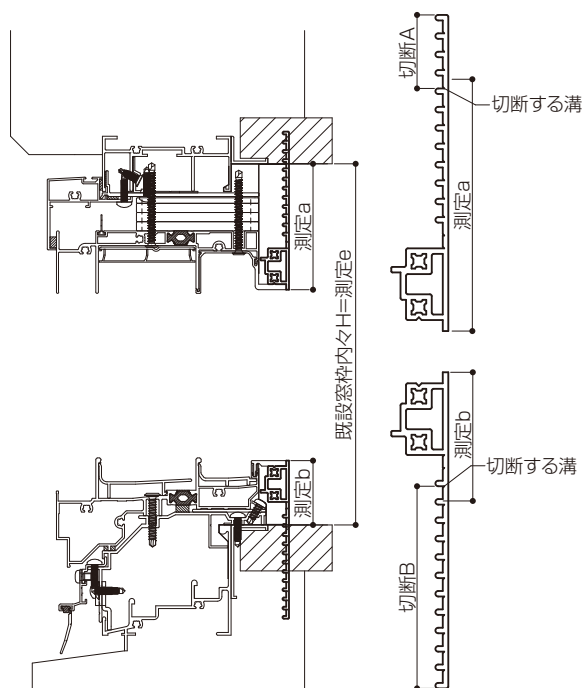
※テラス用アタッチメント付の場合は、P.25へ進んでください。

1 アングルカバーの切断寸法の確認

新設サッシ枠アングルから既設窓枠までのa～dを測定し、切断する溝を決めてください。

既設窓枠内々Hのeを測定し、アングルカバー縦の長さを決めてください。

上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
a	b	c	d
既設窓枠内々H		縦アングルカバー長さ (測定e-3)	
e			



※連窓用引違いアングルカバーの場合は、連窓側のアングルカバーの溝の切断はありません。



2 アングルカバーの加工

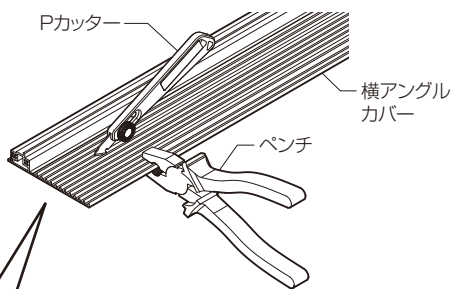
お願い

- 切断面は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- アングルカバー表面が白化することがありますので、十分に切目を入れ、切断する溝付近を持って、丁寧に折取ってください。

アングルカバーを決定した溝で切断してください。

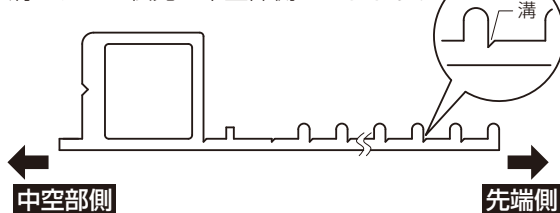
ポイント

下記【溝の位置】を参考に納まりにあう溝にPカッターで切目を入れ、ペンチなどで折取ってください。

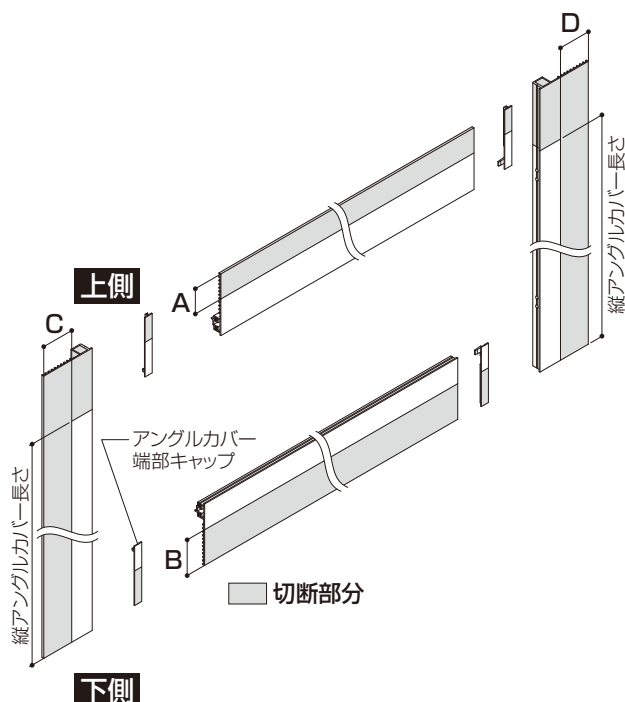


【溝の位置】

溝はリップの根元の中空部側にあります。



縦アングルカバーを決定した長さに切断してください。



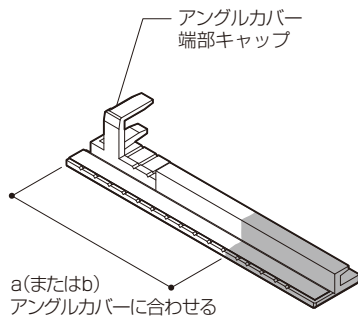
3 アングルカバー端部キャップの加工

アングルカバー端部キャップを切断してください。

※見切材を使用する場合は②の通りに切断してください。

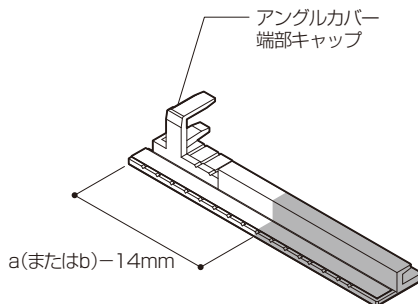
例として、a寸法が68mmの場合を示します。

①見切材を使用しない場合は、横アングルカバーに合わせて切断してください。



②見切材を使用する場合は、a及びb寸法から"14mm"を引いた寸法になるように切断してください。

例：68mm-14mm=54mm

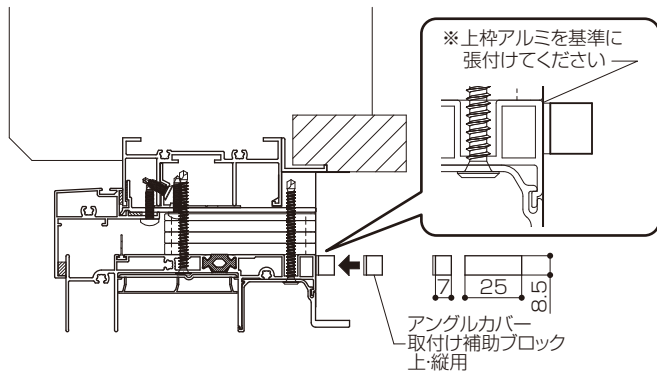


4 アングルカバーの取付け

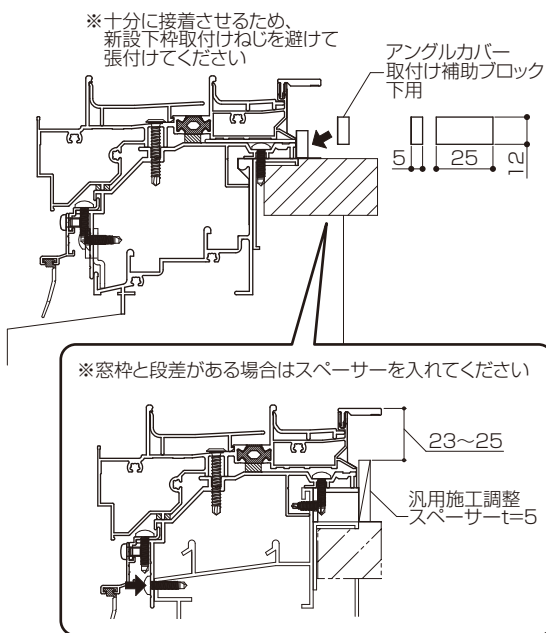
①新設サッシ枠にアングルカバー取付け補助ブロックを、下図のように長手方向でおおよそ均等になるように張付けてください。

※取付け補助ブロックは、上・下・縦の各辺5個目安で入っています。

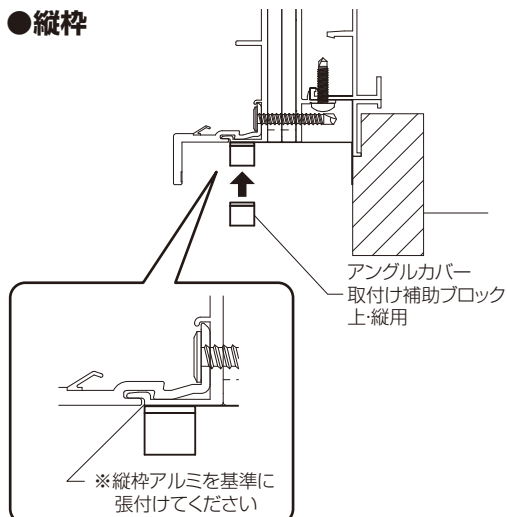
●上枠



●下枠



●縦枠



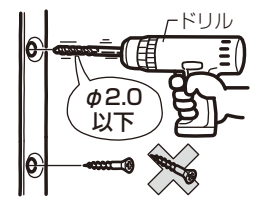
▲注意



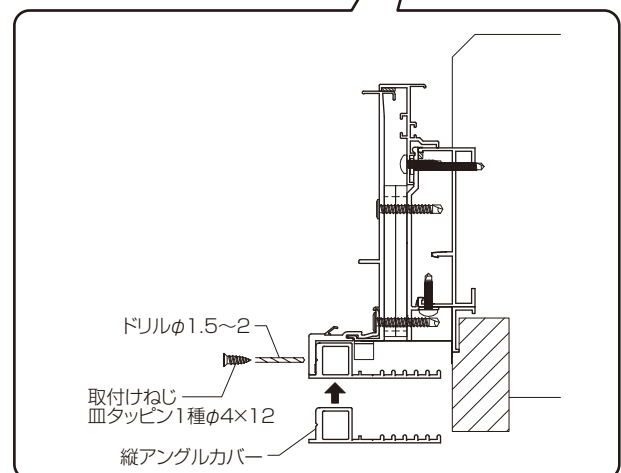
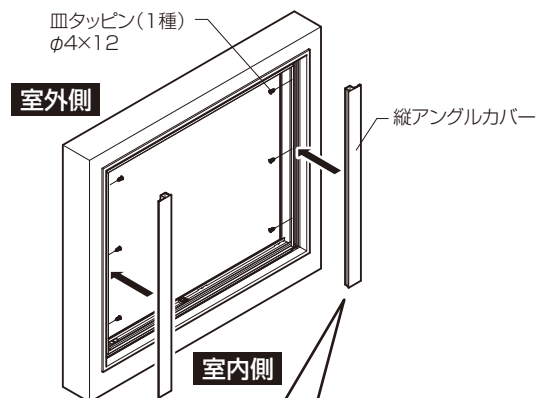
●ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、 $0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

お願い

●ねじはまっすぐにねじ込んでください。

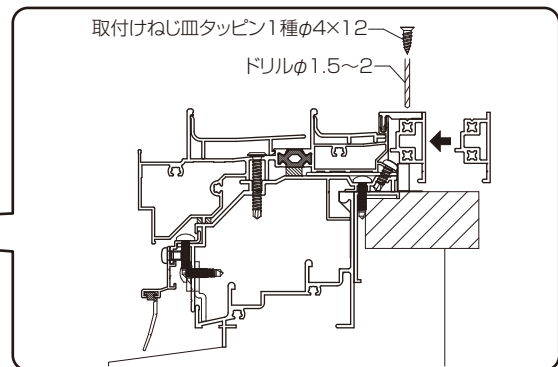
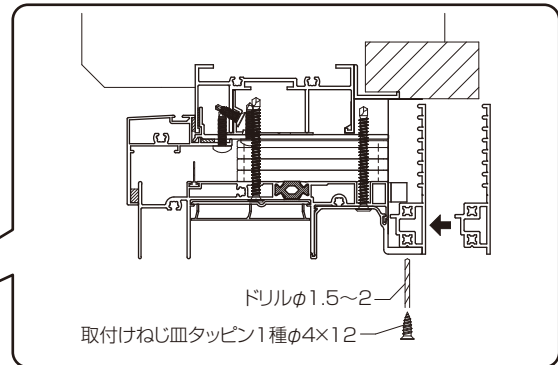
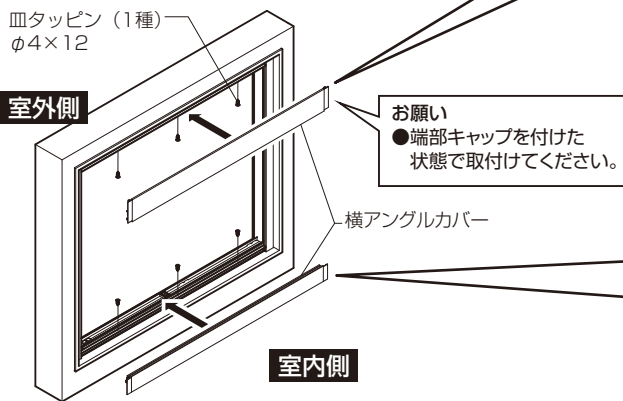
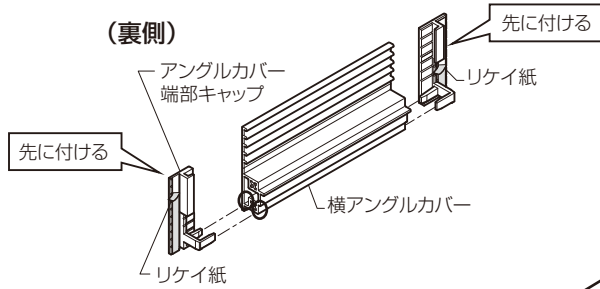


②縦アングルカバーを新設サッシ枠にはめ込み、新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじで固定してください。

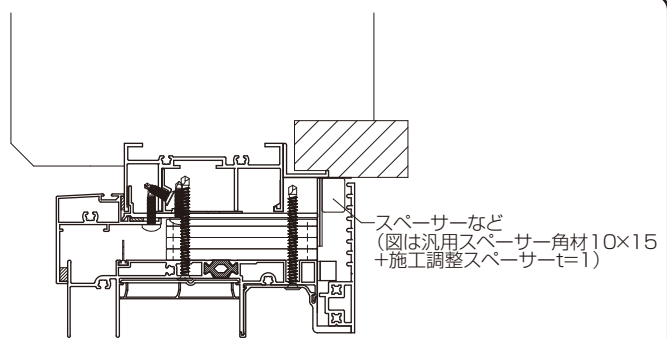
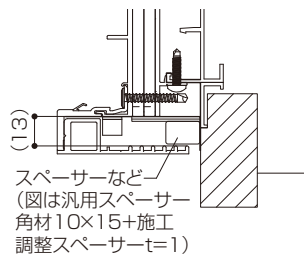


4 アングルカバーの取付け(つづき)

- ③横アングルカバーの両端にアングルカバー端部キャップをはめ込み、リケイ紙をはがして、横アングルカバーを左右均等にはめ込んでください。
 - ④新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじで固定してください。
- ※見切材を使用しない場合やアングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを取付けて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。



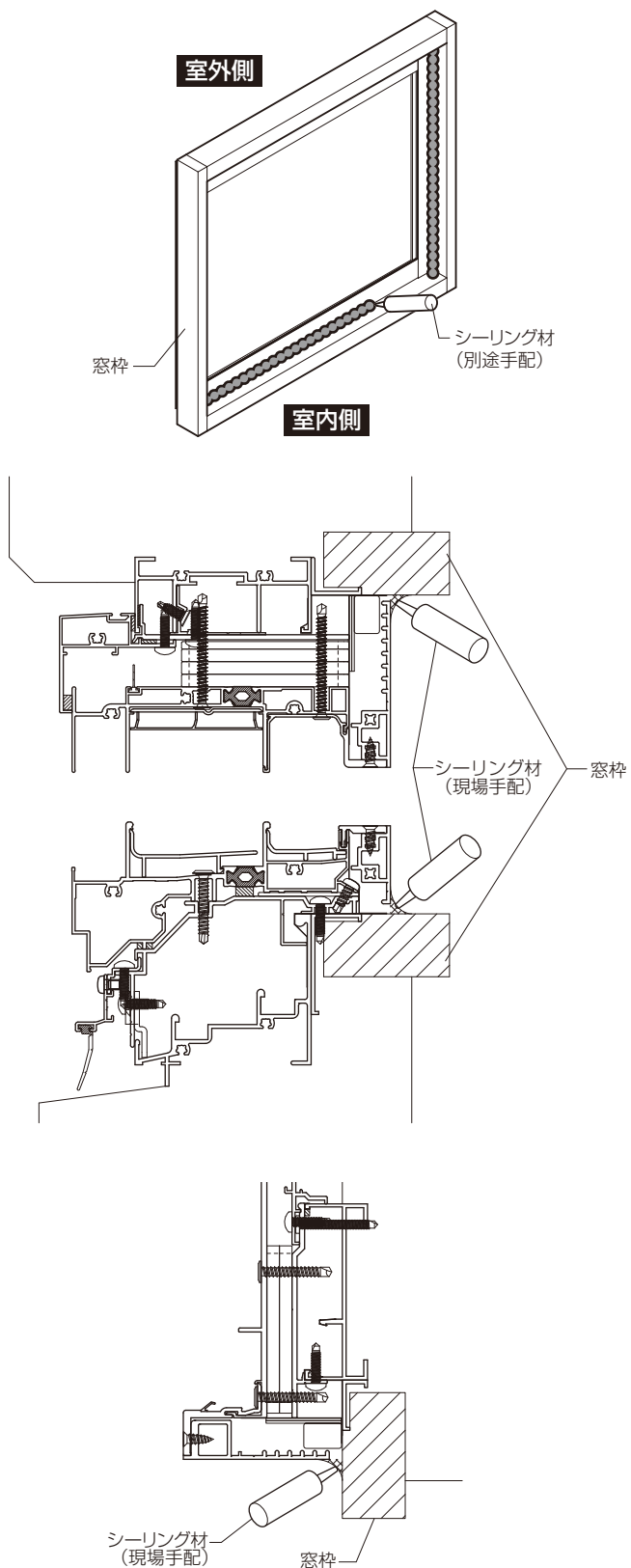
※見切材を使用しない場合やアングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを取付けて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。



※連窓方立カバーを使用する場合は、P.12へ進んでください。

5 アングルカバーのシーリング処理(見切材なしの場合)

①窓枠とアングルカバーのすき間をシーリング処理してください。

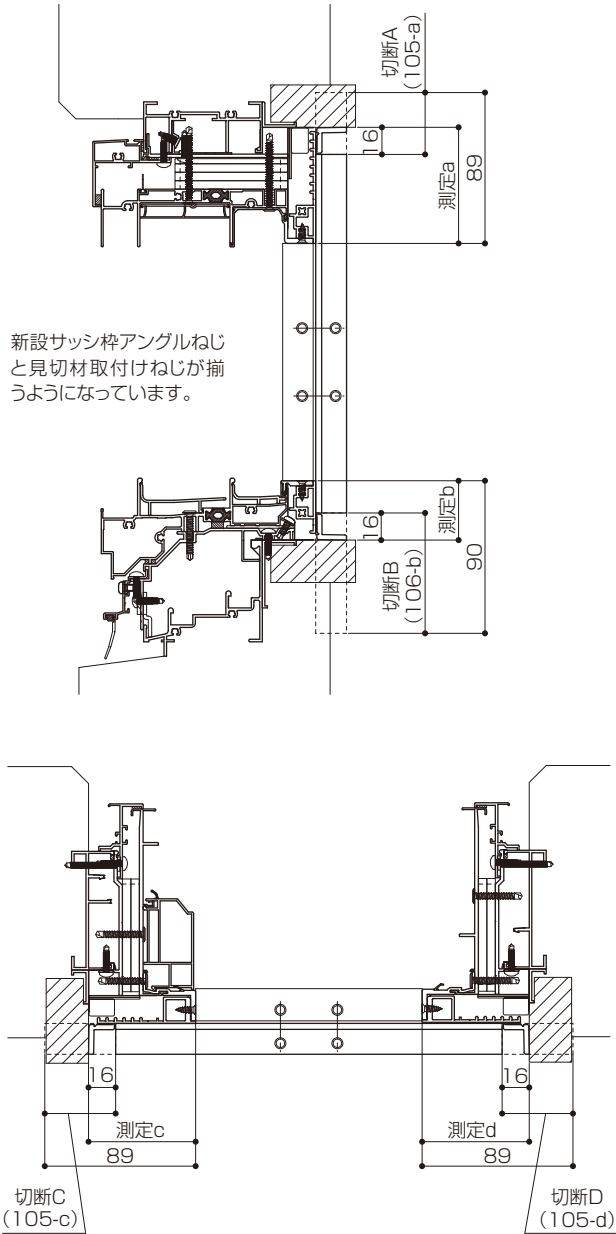


6 見切材の切断寸法の確認(見切材ありの場合)

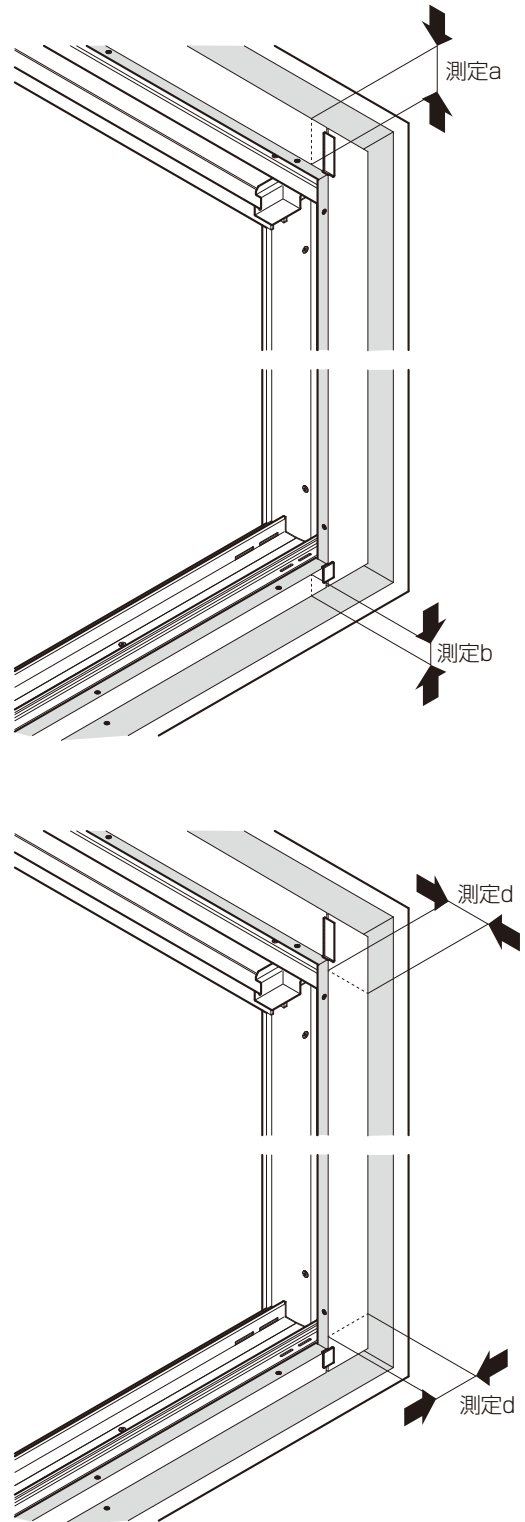
1で測定したa～dから、切断A～Dを決めてください。

	上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
採寸	a	b	c	d
切断	A(105-a)	B(106-b)	C(105-c)	D(105-d)

※下枠のみ切断公式が異なります。



※下図のようにa～dの測定は端部で実施してください。

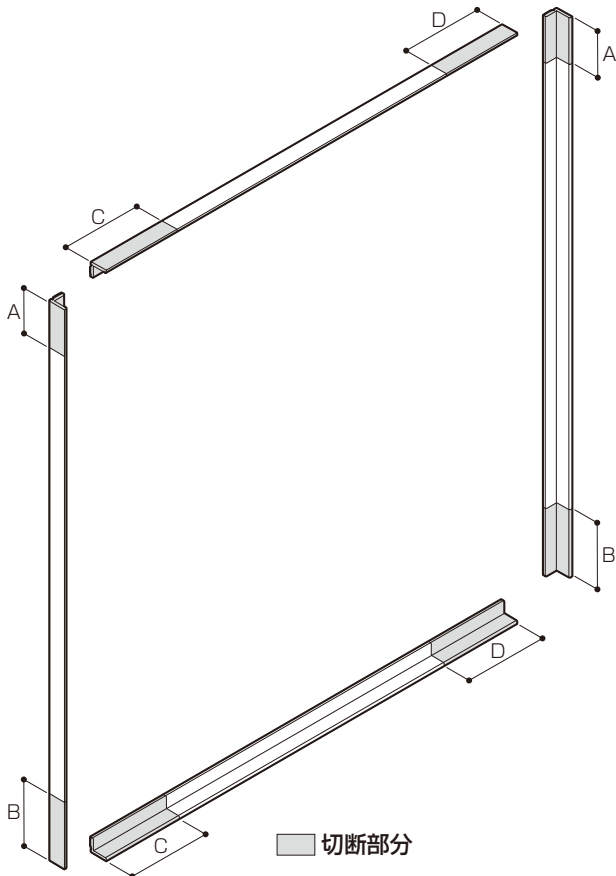


7 見切材の加工

見切材を決定したA～Dに合わせて切断してください。

お願い

- 切断小口は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- 見切材は上下寸法、左右寸法をそれぞれ端部から切断機などで切断してください。合計の切断寸法で片側から切断すると、新設サッシ枠のアンクルねじと見切材固定ねじの位置にズレが発生します。

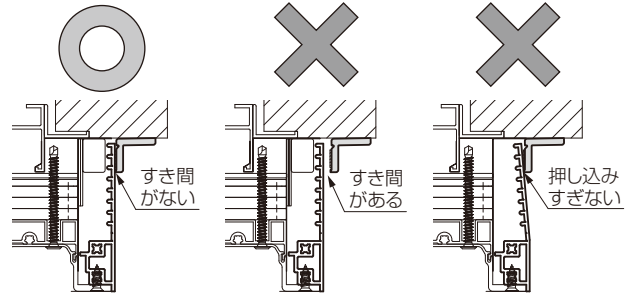


8 見切材の取付け

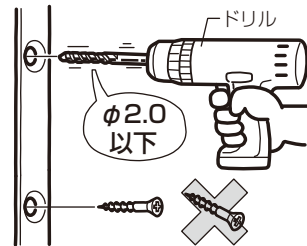
- ①見切材のリケイ紙をはがして、窓枠に当ててスライドさせながらアンクルカバーとすき間が出ないようにアンクルカバーに押し付けて圧着してください。
※新設サッシ枠のアンクルねじ穴と見切材の取付け穴位置に合わせて固定します。
- ②圧着したら、取付け穴に合わせて窓枠に下穴(φ1.5～2)をあけ、取付けねじで固定してください。

お願い

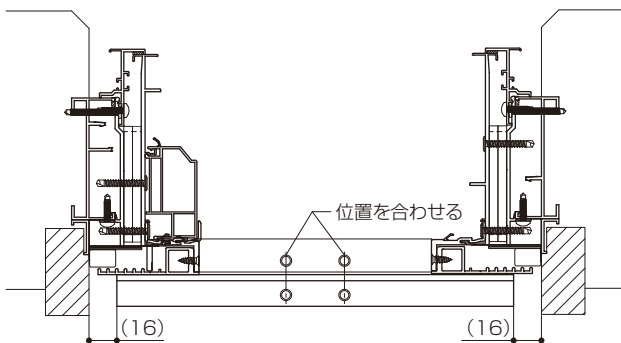
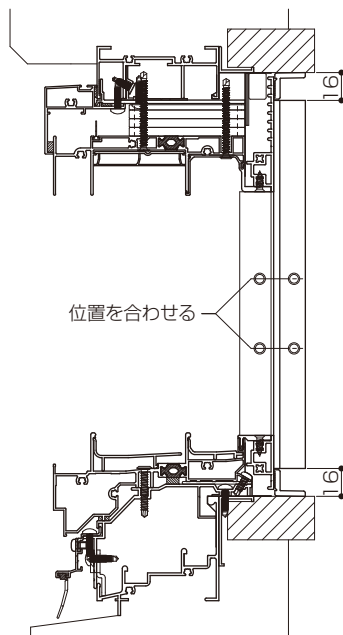
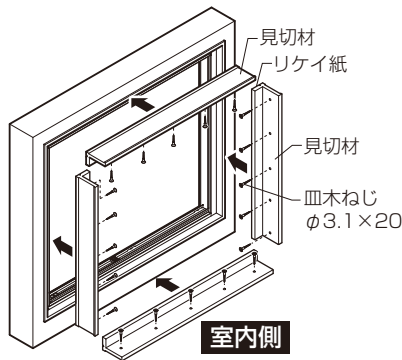
- 見切材はすき間なく取付けてください。その際、見切材を押し込んで、アンクルカバーが曲がらないようにしてください。



- ねじはまっすぐにねじ込んでください。
- ねじの締めすぎに注意してください。

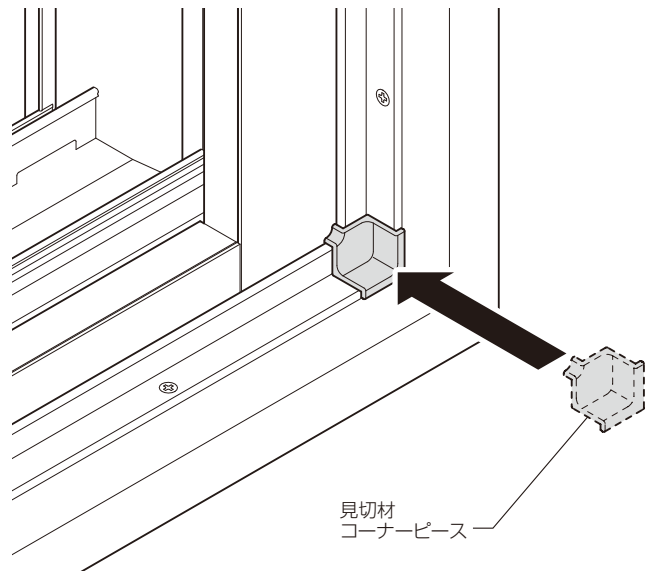
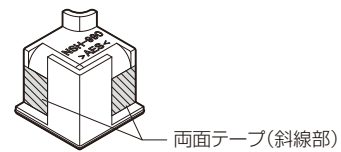


8 見切材の取付け(つづき)

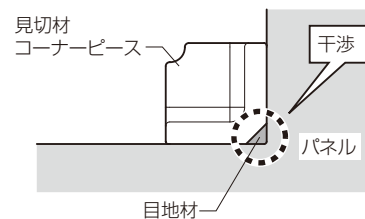


9 見切材コーナーピースの取付け(両面テープ仕様)

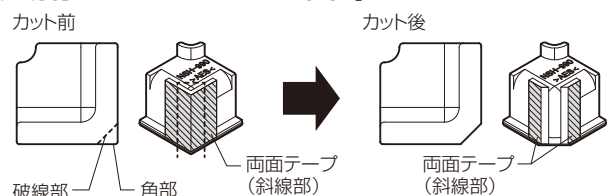
- ①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ③窓枠に強く押付けて圧着してください。
※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ(現場手配/厚さ0.3mm以下)を張付けて、見切材に圧着してください。



※キッチンなどでパネルのコーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部(下図破線部)をカットして干渉しないようにしてください。



【見切材コーナーピースカット位置】



※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。

9 見切材コーナーピースの取付け(ねじ止め仕様)

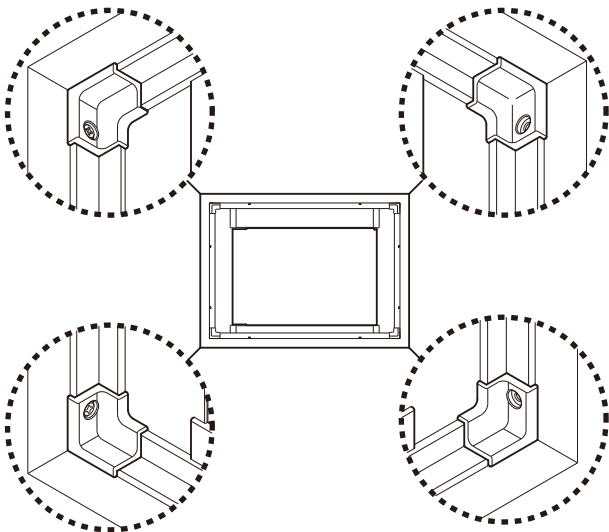
①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。

※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。

②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。

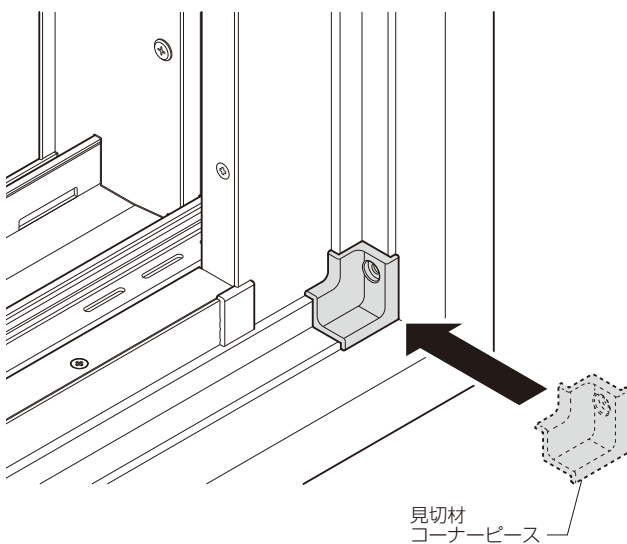
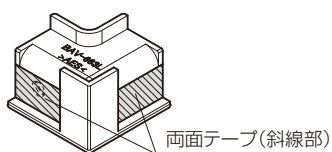
【推奨取付図】

※サイズが小さく、取付しづらい場合は取付向きを変更してください

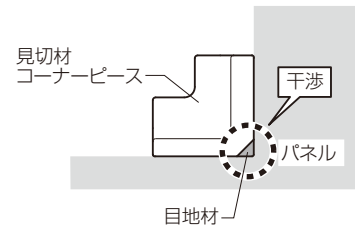


③窓枠に強く押付けて圧着してください。

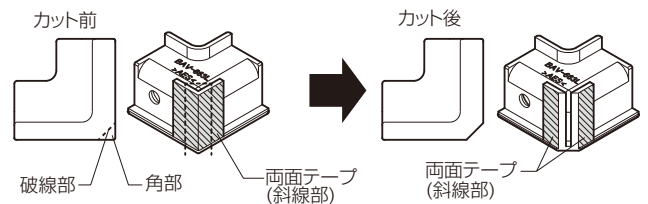
※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ(現場手配/厚さ0.3mm以下)を張付けて、見切材に圧着してください。



※キッチンなどでパネルのコーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部(下図破線部)をカットして干渉しないようにしてください。



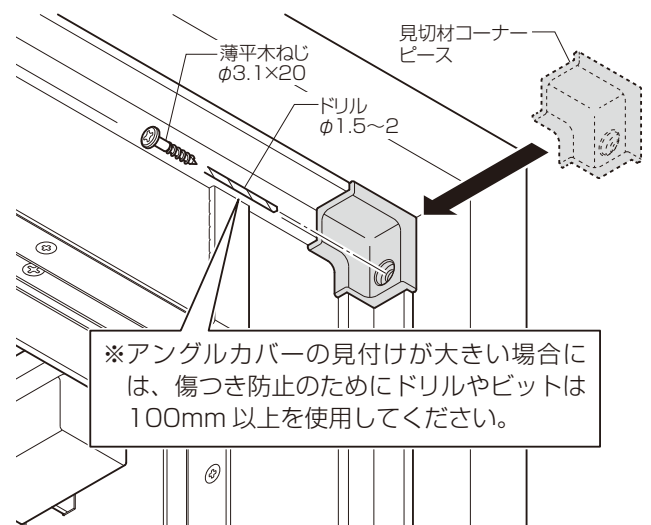
【見切材コーナーピースカット位置】



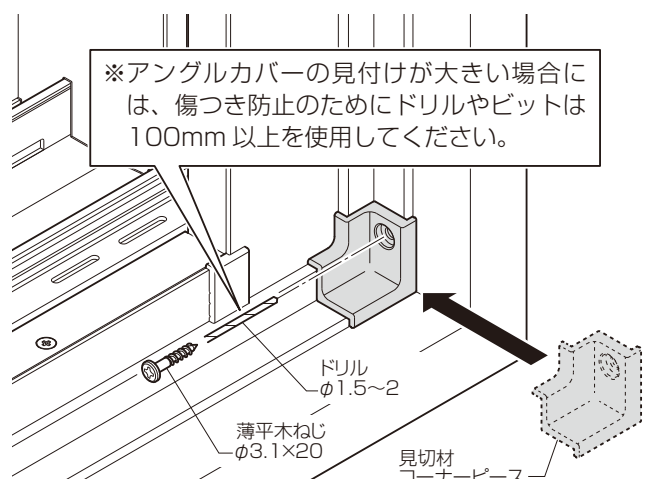
※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。

④取付け穴に合わせて見切材と窓枠に下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじでねじ止めします。

※ねじ止め時に傷つけないためにアングルカバー・見切材を養生等で保護してください



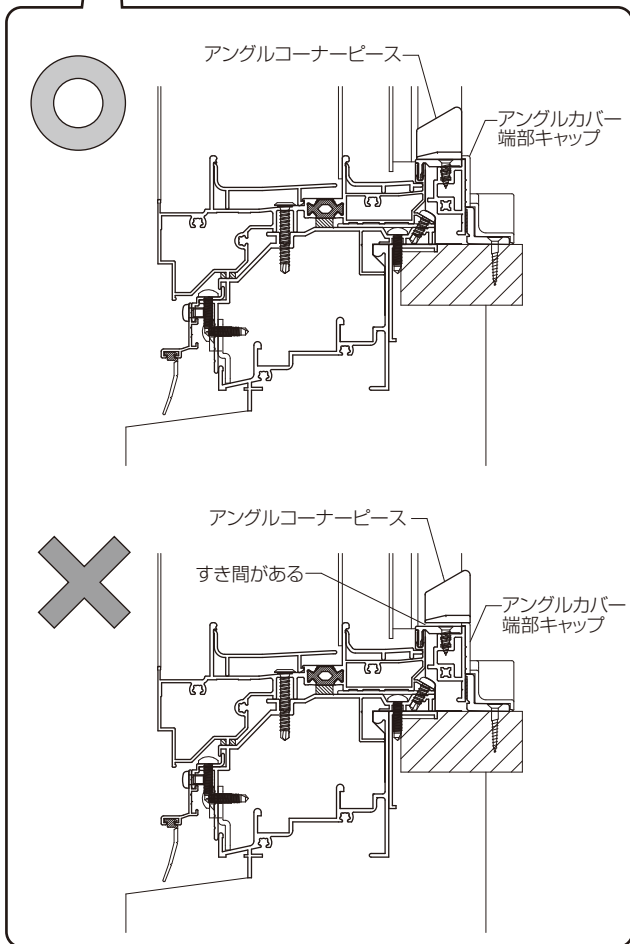
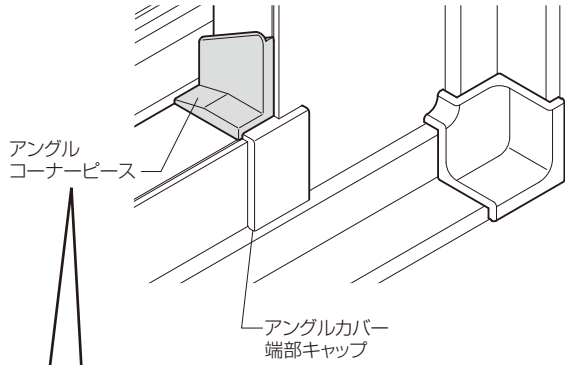
※アングルカバーの見付けが大きい場合には、傷つき防止のためにドリルやビットは100mm以上を使用してください。



※アングルカバーの見付けが大きい場合には、傷つき防止のためにドリルやビットは100mm以上を使用してください。

10 アングルコーナーピースの取付け

アングルコーナーピースを枠のアングル面に合わせ、アングルカバー端部キャップに載らないように張付けてください。



■連窓方立カバー部の取付け

■連窓方立カバー仕様の施工手順

■引違い窓—FIX窓連窓の場合

- 1 引違い側アングルカバーの切断寸法の確認 P.2
- 2 引違い側アングルカバーの加工 P.2
- 3 引違い側アングルカバー—端部キャップの加工 P.3
- 4 引違い側アングルカバー—3方の取付け P.4~5
- 5 連窓方立部の測定 P.12
- 6 連窓方立カバーの加工 P.13
- 7 連窓方立カバー—受け材の切断寸法の確認 P.13
- 8 連窓方立カバー—受け材の加工 P.14
- 9 連窓方立カバー—受け材の取付け P.14
- 10 連窓部の気密テープの張付け P.15
- 11 連窓方立カバー・連窓用アングルカバーの取付け P.16
- 12 連窓方立カバー—端部すき間埋め材の取付け P.17
- 13 FIX側アングルカバーの切断寸法の確認
..... FIX窓アングルカバー説明書 P.2
- 14 FIX側アングルカバーの加工
..... FIX窓アングルカバー説明書 P.2
- 15 FIX側アングルカバーの組立て
..... FIX窓アングルカバー説明書 P.3
- 16 FIX側アングルカバー—3方の取付け
..... FIX窓アングルカバー説明書 P.4~6

見切材連結の場合

- 17 連窓用見切材の切断寸法の確認 P.18
- 18 連窓用見切材の加工 P.19
- 19 連窓用見切材の取付け P.19
- 20 見切材連結ピースの取付け P.20

見切材通しの場合

- 17 連窓用見切材の切断寸法の確認 P.21
- 18 連窓用見切材の加工 P.22
- 19 連窓用見切材の取付け P.22
- 20 見切材コーナーピースの取付け(両面テープ仕様) P.23
- 21 見切材コーナーピースの取付け(ねじ止め仕様) P.24

■引違い窓—引違い窓連窓の場合

- 1 片方の引違い側アングルカバーの切断寸法の確認 P.2
- 2 片方の引違い側アングルカバーの加工 P.2
- 3 片方の引違い側アングルカバー—端部キャップの加工 P.3
- 4 片方の引違い側アングルカバー—3方の取付け P.4~5
- 5 連窓方立部の測定 P.12
- 6 連窓方立カバーの加工 P.13
- 7 連窓方立カバー—受け材の切断寸法の確認 P.13
- 8 連窓方立カバー—受け材の加工 P.14
- 9 連窓方立カバー—受け材の取付け P.14
- 10 連窓部の気密テープの張付け P.15
- 11 連窓方立カバー・連窓用アングルカバーの取付け P.16
- 12 連窓方立カバー—端部すき間埋め材の取付け P.17
- 13 片方の引違い側アングルカバーの切断寸法の確認 P.2
- 14 片方の引違い側アングルカバーの加工 P.2
- 15 片方の引違い側アングルカバー—3方の組立て P.3
- 16 片方の引違い側アングルカバー—3方の取付け P.4~5

見切材連結の場合

- 17 連窓用見切材の切断寸法の確認 P.18
- 18 連窓用見切材の加工 P.19
- 19 連窓用見切材の取付け P.19
- 20 見切材連結ピースの取付け P.20

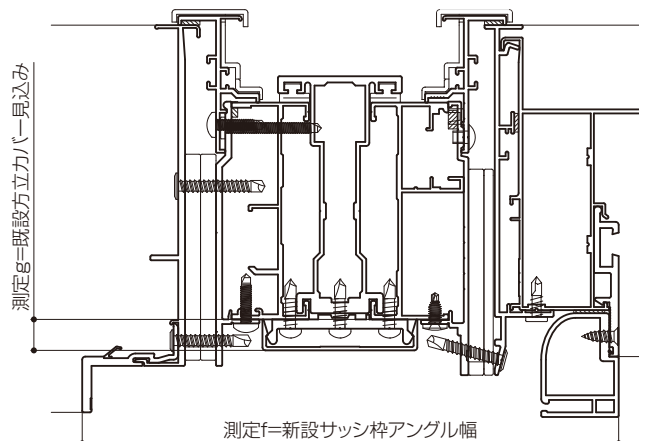
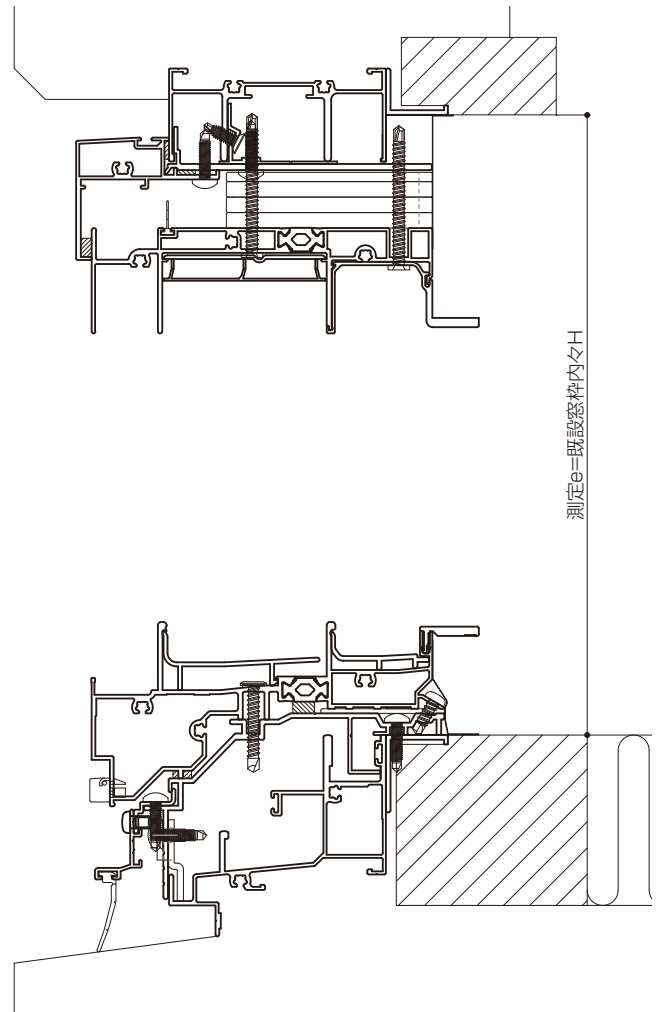
見切材通しの場合

- 17 連窓用見切材の切断寸法の確認 P.21
- 18 連窓用見切材の加工 P.22
- 19 連窓用見切材の取付け P.22
- 20 見切材コーナーピースの取付け(両面テープ仕様) P.23
- 21 見切材コーナーピースの取付け(ねじ止め仕様) P.24

5 連窓方立部の測定

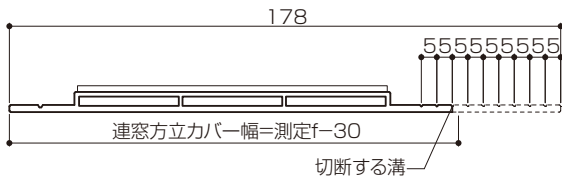
- ・ 既設窓枠のH内々を測定し、連窓方立カバーの切断する長さを決めてください。
- ・ 新設サッシ枠アングルの幅を測定してください。
- ・ 既設方立カバー見込みを測定してください。

	既設窓枠内々H	新設サッシ枠アングル幅	既設方立カバー見込み
採寸	e	f	g
切断	長さ(e-5)		

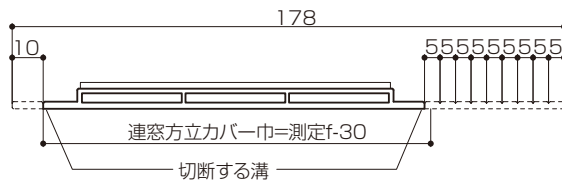


6 連窓方立カバー・連窓用アングルカバーの加工

連窓方立カバーをP.12 1で測定した寸法から切断する溝を決めて、切断してください。



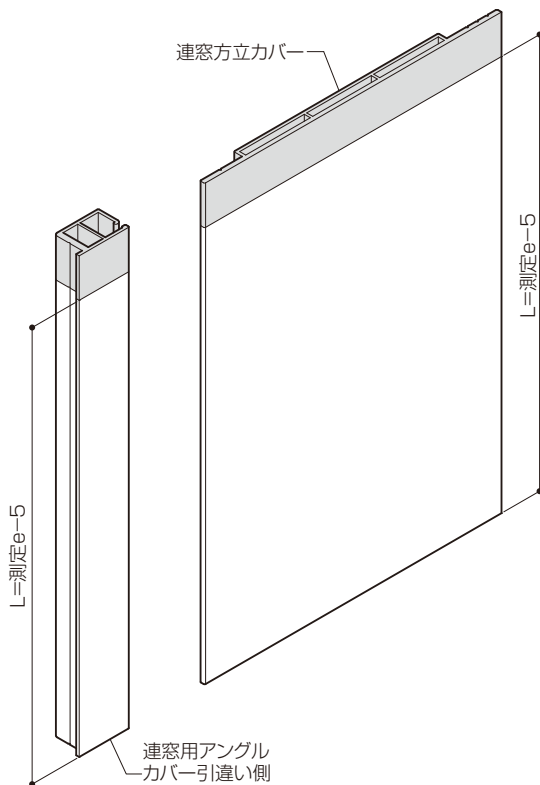
※引違い窓ー引違い窓連窓の場合、測定寸法が162mm以下の場合には、右側の溝では足りないので、左側の溝も切断してください。



連窓方立カバー・連窓用アングルカバーを決定した長さで切断してください。

お願い

- FIX窓ーFIX窓連窓の場合は、連窓用FIXアングルカバー連窓側をP.2を参照して、必ず上下から切詰めしてください。上下から切詰めしないと切欠きが露出する場合があります。



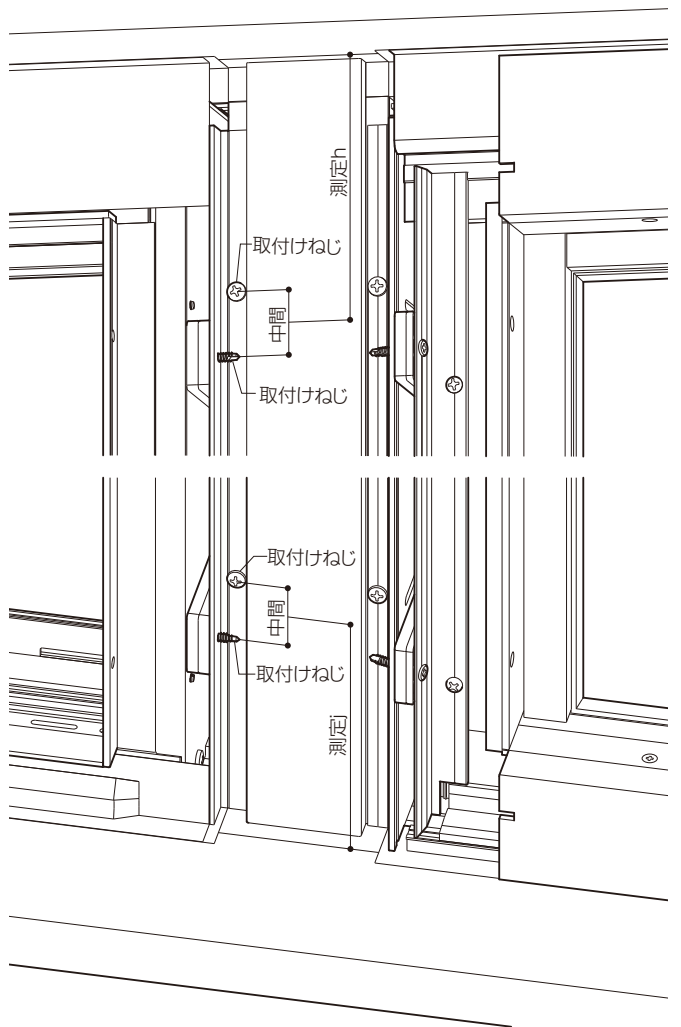
7 連窓方立カバー受け材の切断寸法の確認

P.12 1の測定で既設方立カバーの見込み寸法が21mm以上の場合は、P.15 10へ進んでください。

見込みが20mm以下の場合、窓枠から取付けねじ中間くらいまでのh～jを測定し、受け材の切断する長さを決めてください。

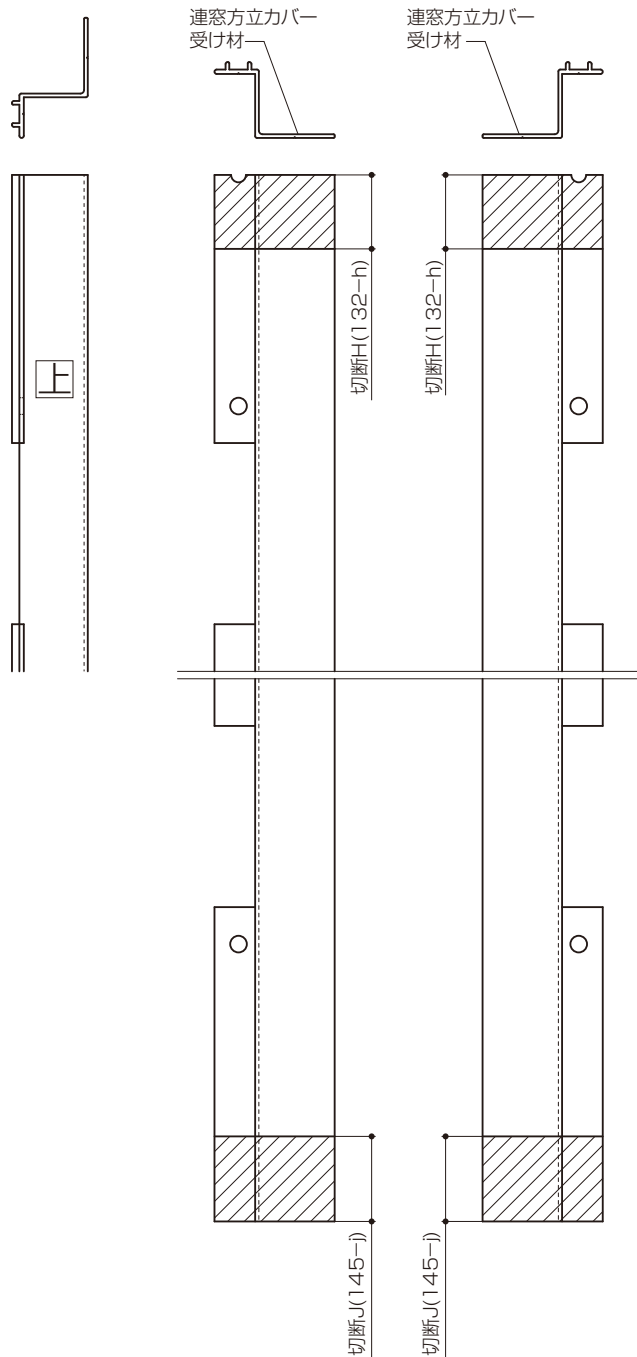
又は、受け材の切欠き部を取付けねじを避けるように当てがい、切断する長さを決めてください。

	上枠	下枠
採寸	h	j
切断	H(132-h)	J(145-j)



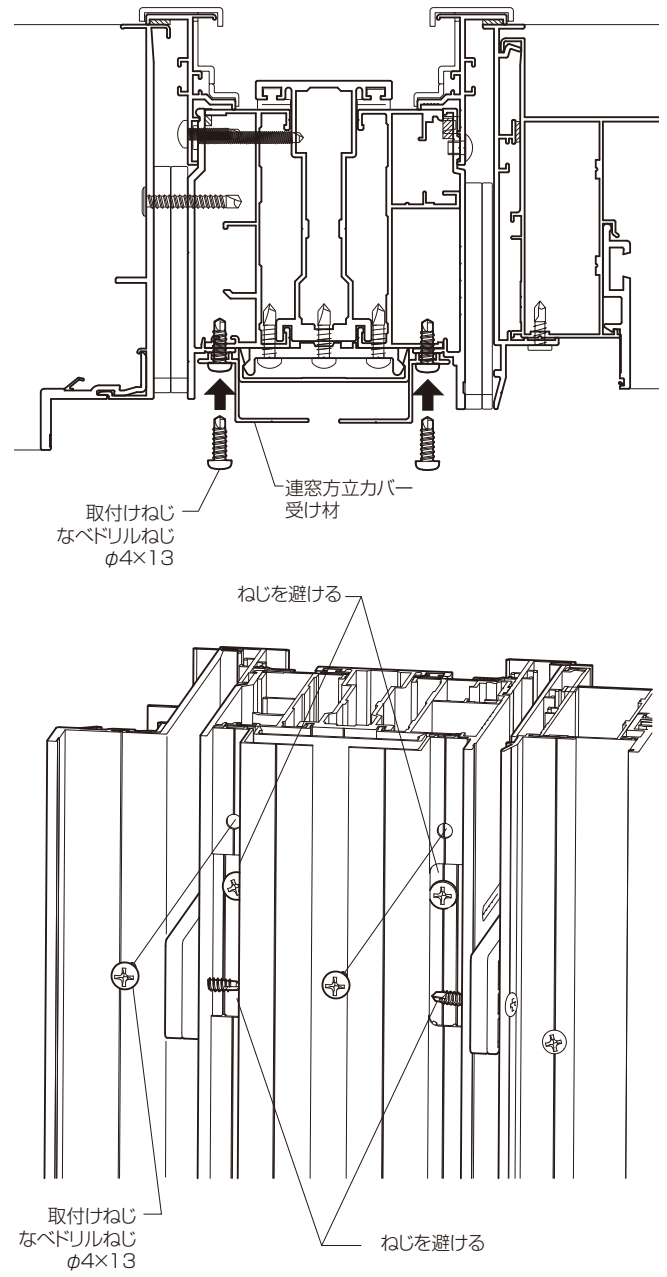
8 連窓方立カバー受け材の加工

連窓方立カバー受け材を決定した長さで切断してください。
 ※上シールが張り付けてある方が上になります。



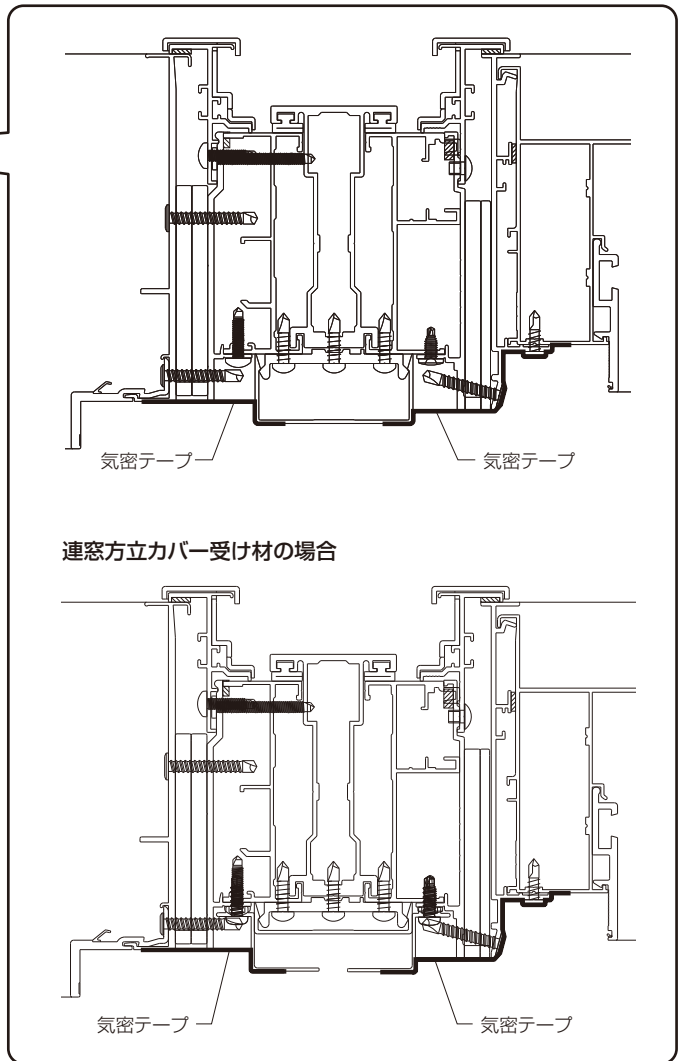
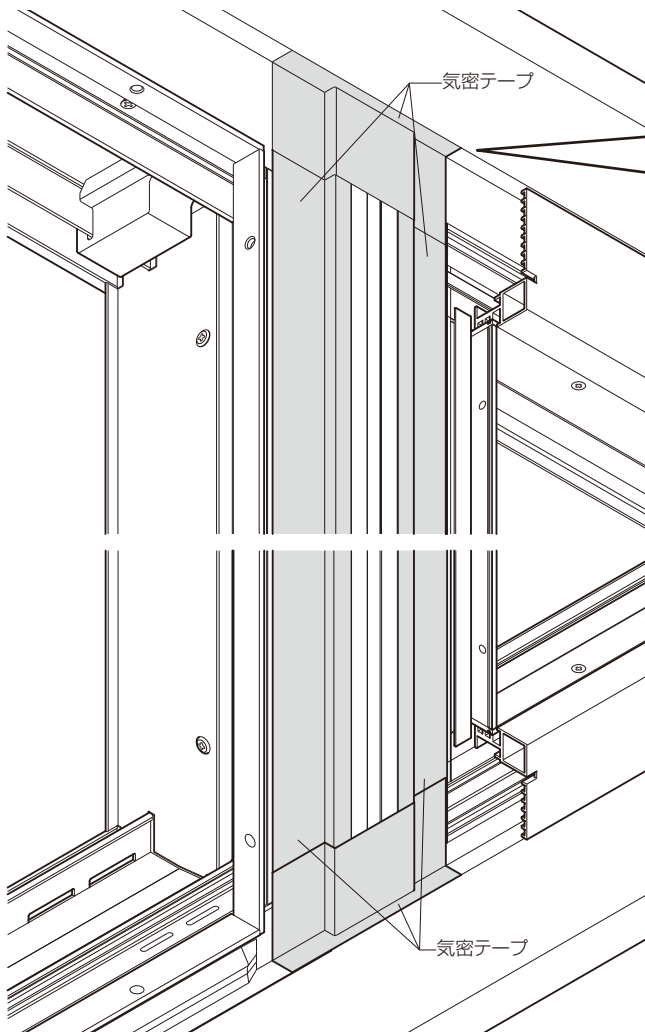
9 連窓方立カバー受け材の取付け

連窓方立カバー受け材を既設方立カバー材にあてながら、ベース材に設置し、ねじ止めしてください。



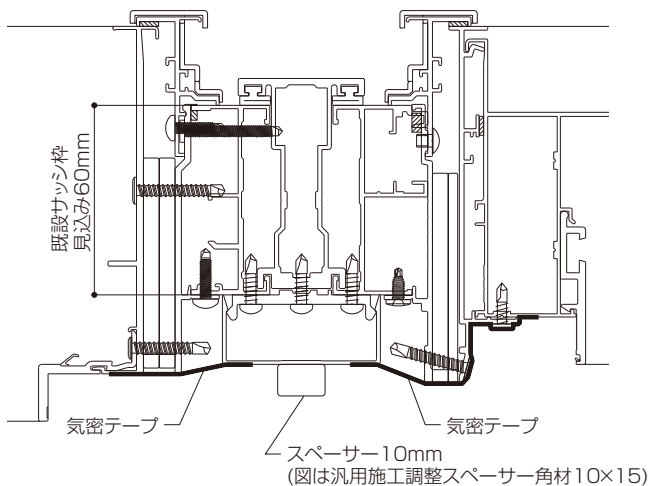
10 気密テープの張付け

図を参考にローラー、へらなどを使用し、気密テープを浮き、すき間なく張付けてください。端部は重ね合わせて張付けてください。

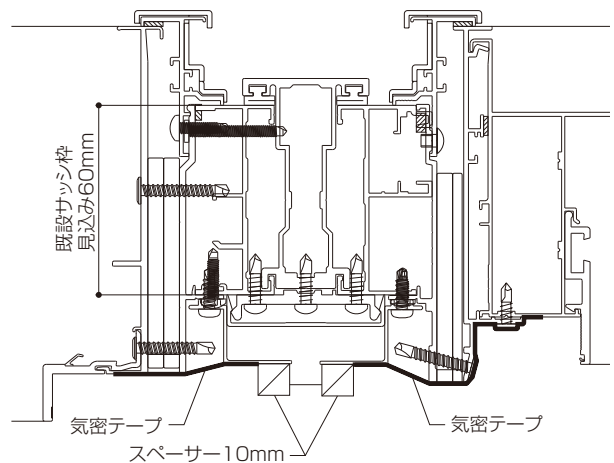


※既設サッシ枠見込み60mmの場合は、連窓方立カバーを受けるため、10mm分のスペーサーを両面テープ等で張付けてください。

既設サッシ枠見込み60mmの場合

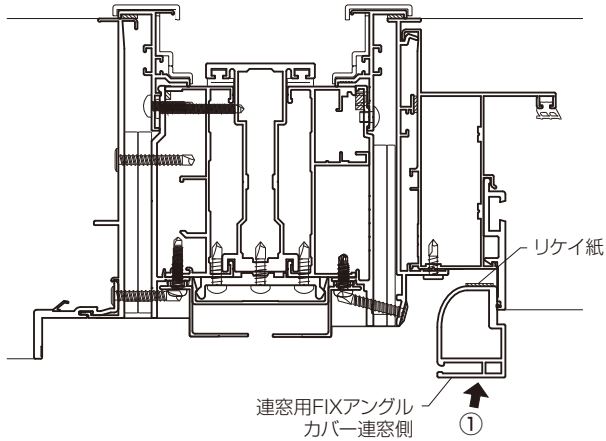


連窓方立カバー受け材の場合

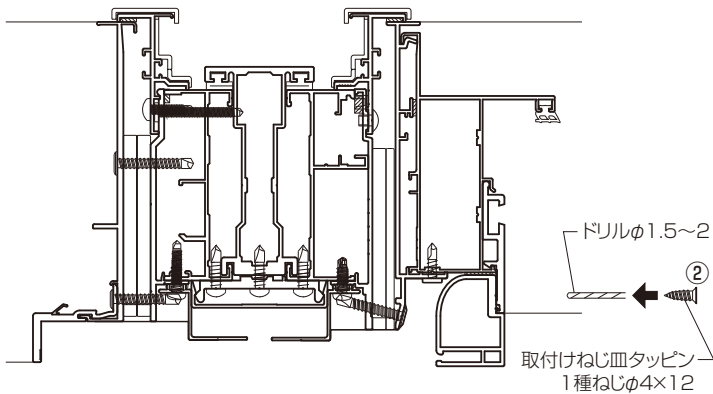


Ⅳ 連窓方立カバー・連窓用アングルカバーの取付け

①連窓用FIXアングルカバー連窓側のリケイ紙をはがし、新設サッシ縦枠アングルに押しあてながら、室外側に押し込んでください。

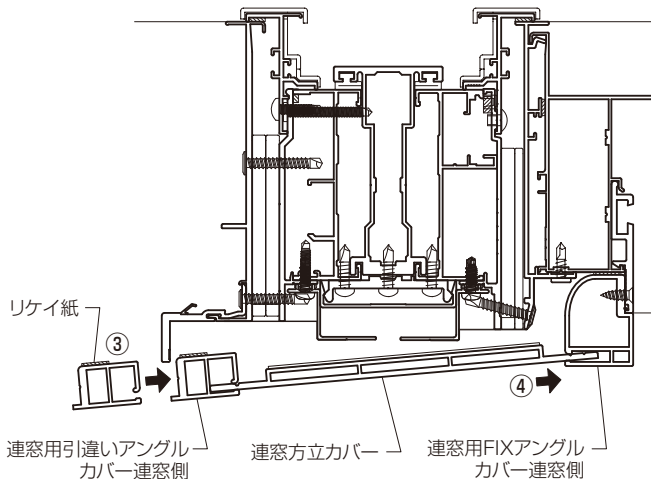


②新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじで固定してください。

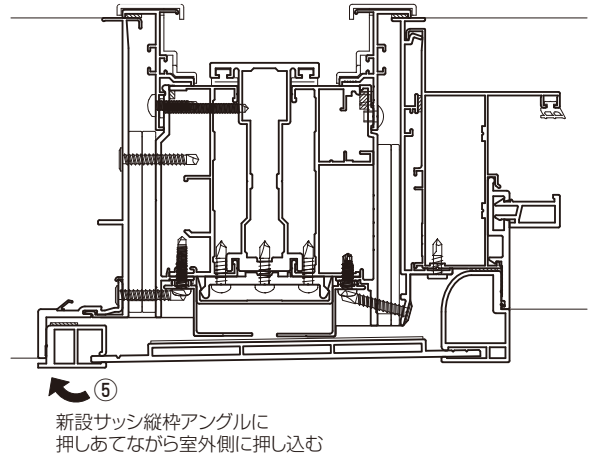


③連窓側引違いアングルカバー連窓側のリケイ紙をはがし、連窓方立カバーにはめてください。

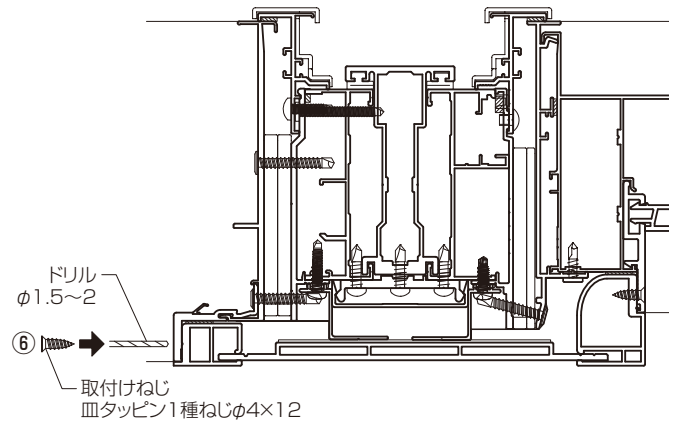
④③の連窓方立カバーを新設サッシに取付けた連窓用FIXアングルカバー連窓側にはめてください。



⑤新設サッシ縦枠アングルに連窓用引違いアングルカバー連窓側を押しあてながら、室外側に押し込んでください。



⑥新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじで固定してください。

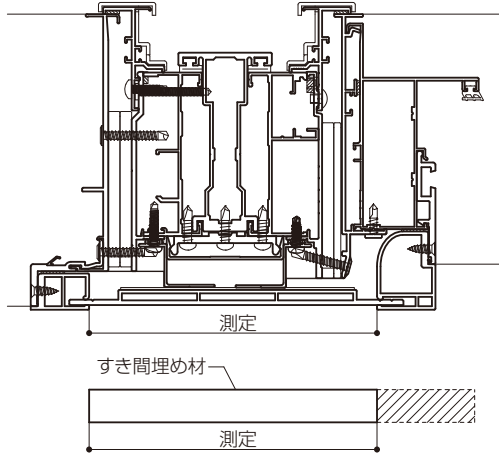


図は、引違い窓-FIX窓連窓の場合を示しますが、FIX窓-FIX窓連窓、引違い窓-引違い窓-引違い窓連窓、FIX窓-FIX窓-FIX窓連窓の場合も手順は同じです。

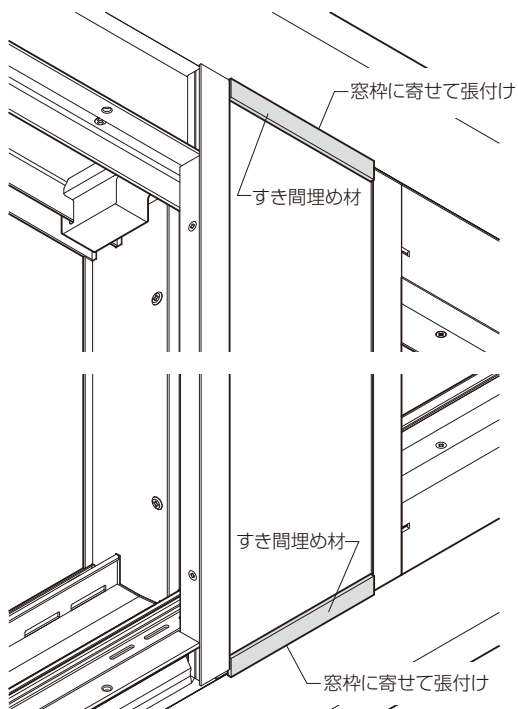
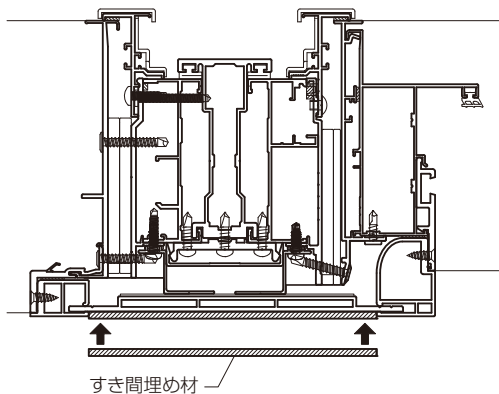
12 連窓方立カバー端部すき間埋め材の取付け

※見切材なしの場合は取付け不要です。13～16へ進んでください。

左右の連窓用アングルカバーの間を測定してください。
測定した寸法にすき間埋め材を切断してください。



連窓方立カバーの端部にすき間埋め材を張り付けてください。
※上端は窓枠と連窓方立カバー材にすき間がありますので、
窓枠に合わせて張り付けてください。



13 ~ 16

■FIX側のアングルカバーは、見切材取付け前にFIXアングルカバー同梱の組立て・取付け説明書のP.2～5を参照して、取付けてください。

- 13 FIX側アングルカバーの切断寸法の確認
..... FIX窓アングルカバー説明書 P.2
- 14 FIX側アングルカバーの加工
..... FIX窓アングルカバー説明書 P.2
- 15 FIX側アングルカバーの組立て
..... FIX窓アングルカバー説明書 P.3
- 16 FIX側アングルカバー3方の取付け
..... FIX窓アングルカバー説明書 P.4～6

CHECK!



見切材なしの場合は、P.3～6を参照して引違い側のアングルカバー端部キャップの加工・取付け、窓枠とアングルカバー間のシーリング処理をしてください。

※見切材連結の場合(見切材通しの場合は、P.21へ進んでください。)

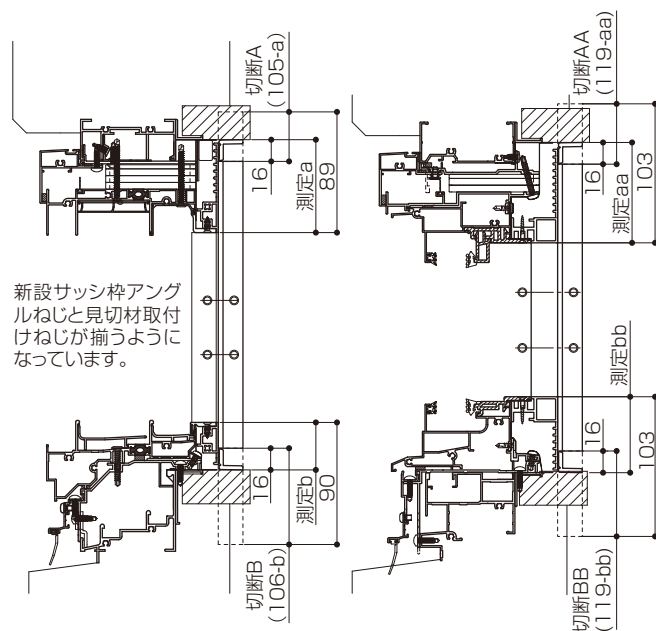
17 連窓用見切材の切断寸法の確認

新設サッシ枠アングルから窓枠までを測定し、切断する長さを決めてください。

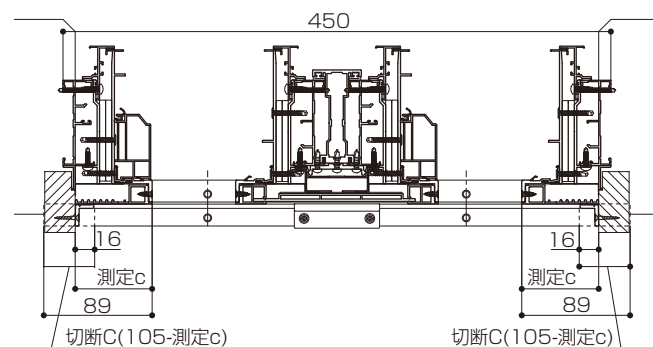
引違い側	上枠	下枠	縦枠
採寸	a	b	c
切断	A(105-a)	B(106-b)	C(105-c)
FIX側	上枠	下枠	縦枠
採寸	aa	bb	cc
切断	AA(119-aa)	BB(119-bb)	CC(112-cc)

引違い側

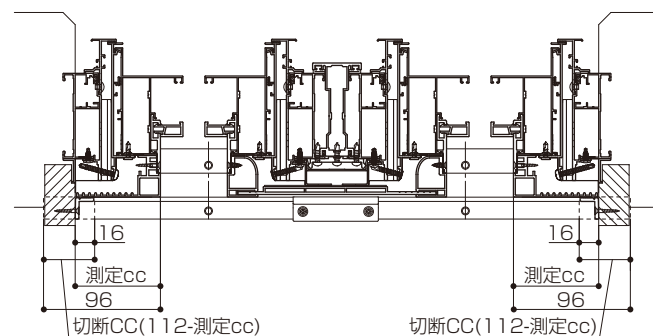
FIX側



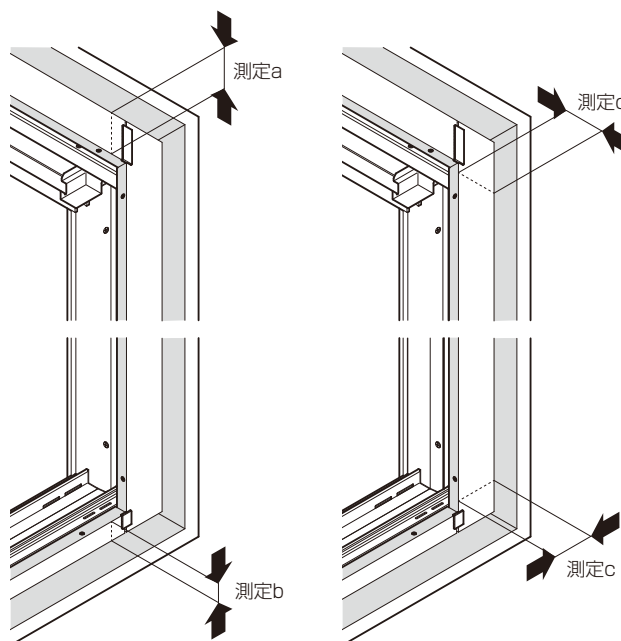
引違い窓—引違い窓連窓



FIX窓—FIX窓連窓



※下図のように測定は端部で実施してください。



※見切材連結の場合

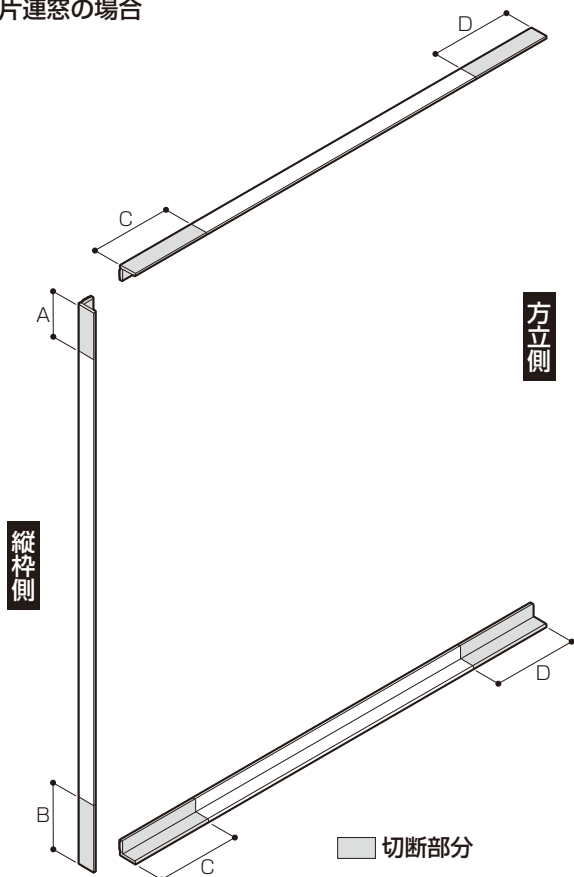
18 連窓用見切材の加工

見切材を決定したA～Dに合わせて切断してください。

お願い

- 切断小口は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- 見切材は上下寸法、左右寸法をそれぞれ端部から切断機などで切断してください。合計の切断寸法で片側から切断すると、新設サッシ枠のアングルねじと見切材固定ねじの位置にズレが発生します。

片連窓の場合



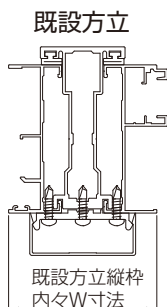
※図は内観左に引違い窓の場合になります。

※両連窓用の場合は、上下枠見切材の切断寸法は両側Dになります。D寸法は以下を参照ください。

D寸法：方立側切断寸法目安

(方立左右それぞれの見切材切断寸法)

	70mm	80mm	100mm
FIX-FIX	不要	不要	—
引違い-FIX	5mm	不要	不要
引違い-引違い	9mm	4mm	不要

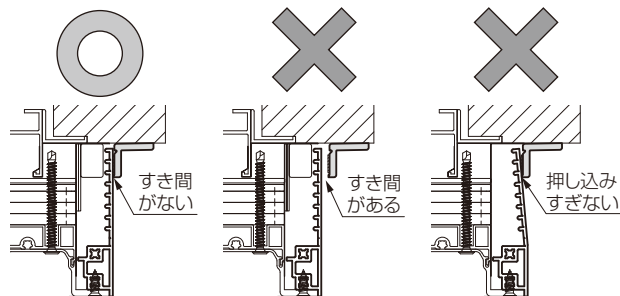


19 連窓用見切材の取付け

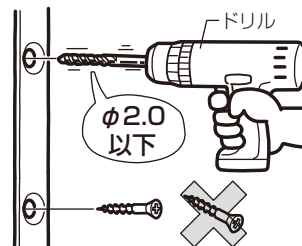
- ①見切材のリケイ紙をはがして、窓枠に当ててスライドさせながらアングルカバーとすき間が出ないようにアングルカバーに押し付けて圧着してください。
- ②圧着したら、取付け穴に合わせて窓枠に下穴(φ1.5～2)をあけ、取付けねじで固定してください。

お願い

- 見切材はすき間なく取付けてください。その際、見切材を押し込んで、アングルカバーが曲がらないようにしてください。

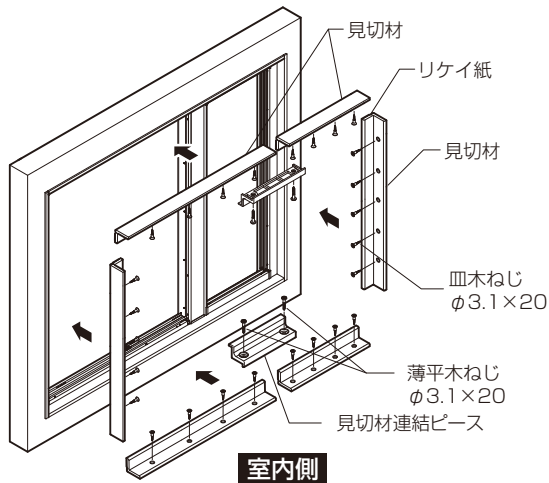


- ねじはまっすぐにねじ込んでください。
- ねじの締めすぎに注意してください。



※見切材連結の場合

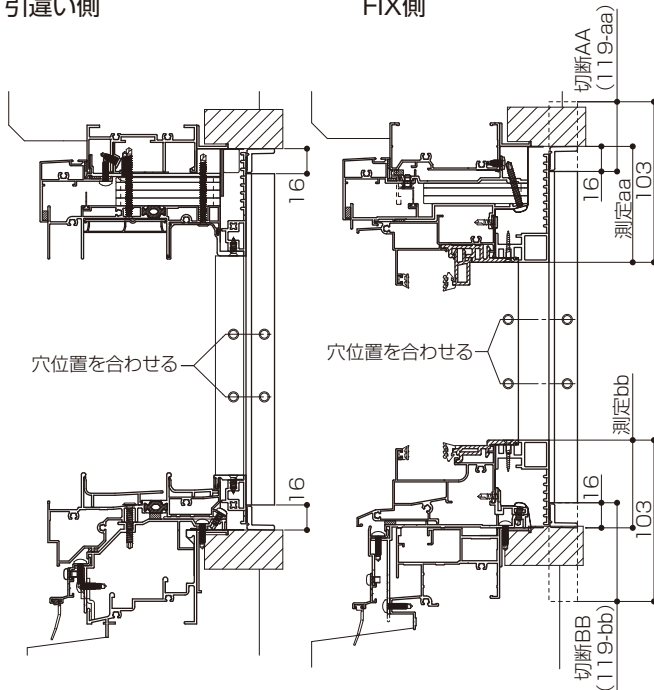
19 連窓用見切材の取付け(つづき)



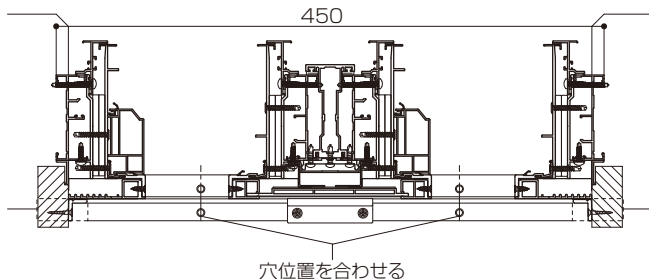
室内側

引違い側

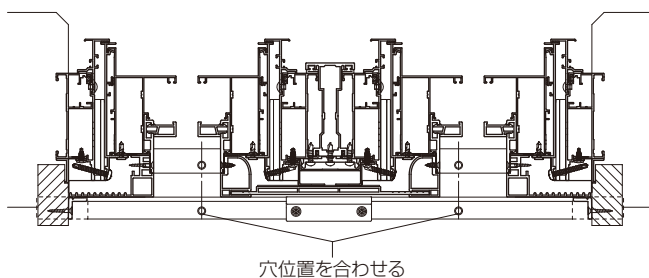
FIX側



引違い窓—引違い窓連窓



FIX窓—FIX窓連窓

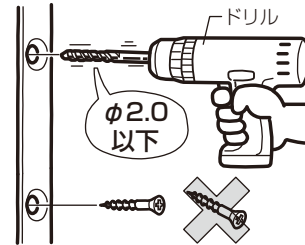


※見切材コーナーピースの取付けは、P.23へ進んでください。

20 見切材連結ピースの取付け

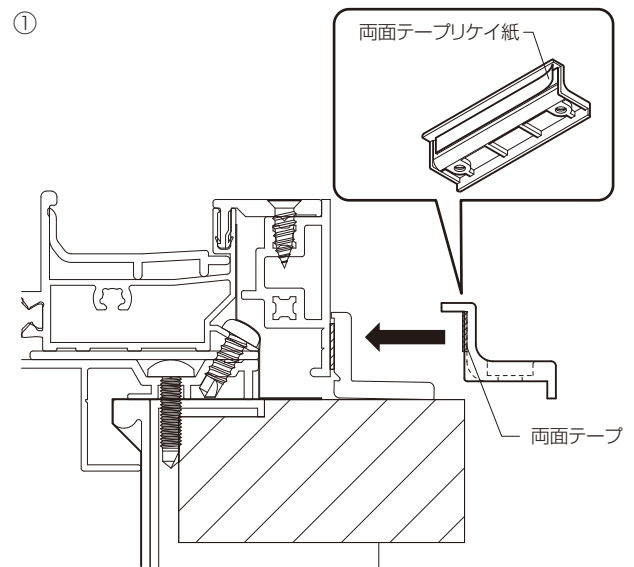
見切材連結ピース取付け上のお願

- ねじはまっすぐにねじ込んでください。
- ねじの締めすぎに注意してください。

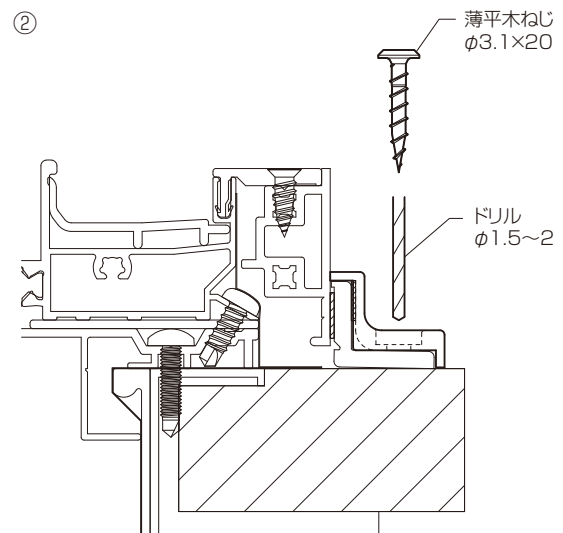


- ①連結ピースの裏面のリケイ紙をはがし、見切材に合わせ、強く押付けて圧着してください。
 - ②取付け穴に合わせて見切材と窓枠に下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじでねじ止めします。
- ※ねじ止め時に傷つけないために連窓方立カバー・見切材を養生等で保護してください。

①



②



※見切材通しの場合

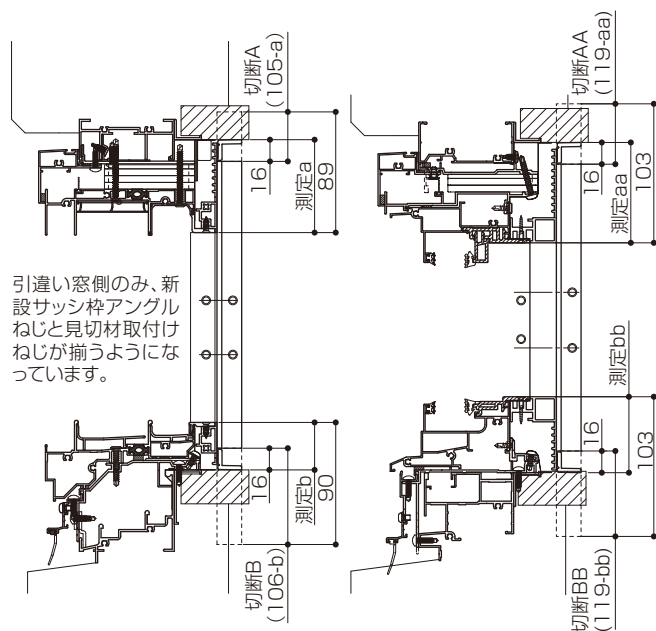
17 連窓用見切材の切断寸法の確認

新設サッシ枠アングルから窓枠までを測定し、切断する長さを決めてください。

引違い側	上枠	下枠	縦枠
採寸	a	b	c
切断	A(105-a)	B(106-b)	C(105-c)
FIX側	上枠	下枠	縦枠
採寸	aa	bb	cc
切断	AA(119-aa)	BB(119-bb)	CC(112-cc)

引違い側

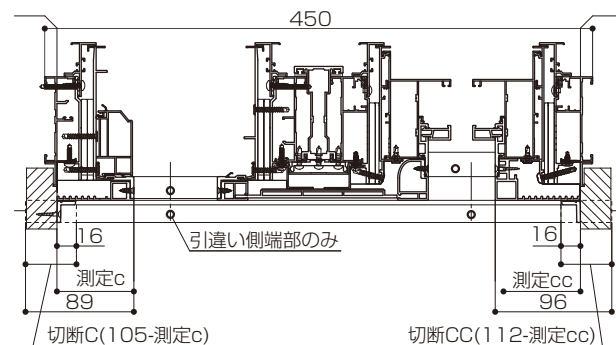
FIX側



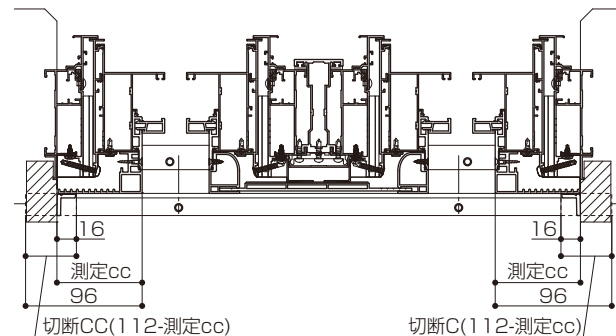
引違い窓側のみ、新設サッシ枠アングルねじと見切材取付けねじが揃うようになっています。

CHECK! 縦見切材の取付け穴は引違い窓のアングル穴に合せてあります。FIX窓のアングル穴には合いません。

引違い窓—FIX窓連窓

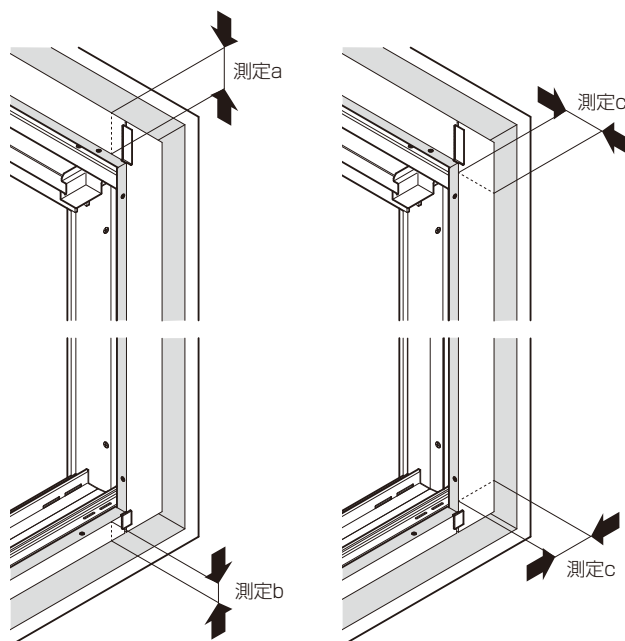


FIX窓—FIX窓連窓



CHECK! 横見切材の取付け穴は引違い窓の縦枠側端部のみアングル穴と合います。FIX窓—FIX窓連窓の場合は左右均等になります。(アングル穴には合いません)

※下図のように測定は端部で実施してください。



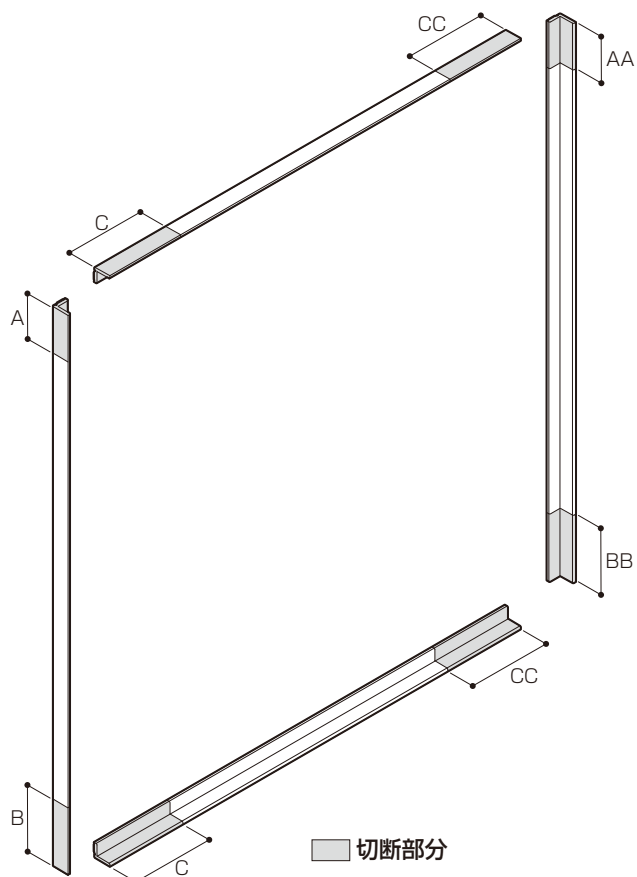
※見切材通しの場合

18 連窓用見切材の加工

見切材を決定したA～CCに合わせて切断してください。

お願い

- 切断小口は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- 見切材は上下寸法、左右寸法をそれぞれ端部から切断機などで切断してください。合計の切断寸法で片側から切断すると、新設サッシ枠のアンクルねじと見切材固定ねじの位置にズレが発生します。



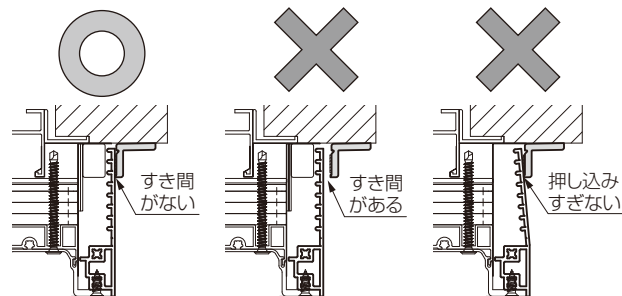
※図は内観左に引違い窓、内観右にFIX窓の場合になります。

19 連窓用見切材の取付け

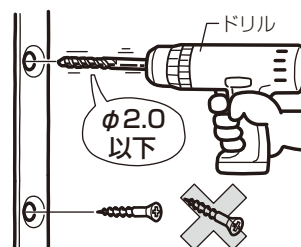
- ①見切材のリケイ紙をはがして、窓枠に当ててスライドさせながらアンクルカバーとすき間が出ないようにアンクルカバーに押し付けて圧着してください。
- ②圧着したら、取付け穴に合わせて窓枠に下穴(φ1.5～2)をあけ、取付けねじで固定してください。

お願い

- 見切材はすき間なく取付けてください。その際、見切材を押し込んで、アンクルカバーが曲がらないようにしてください。

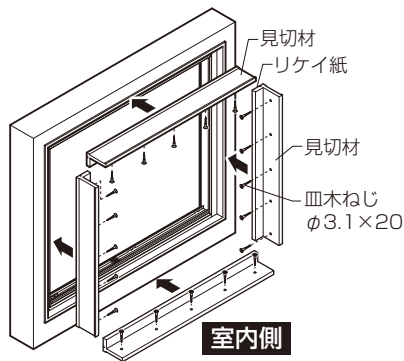


- ねじはまっすぐにねじ込んでください。
- ねじの締めすぎに注意してください。



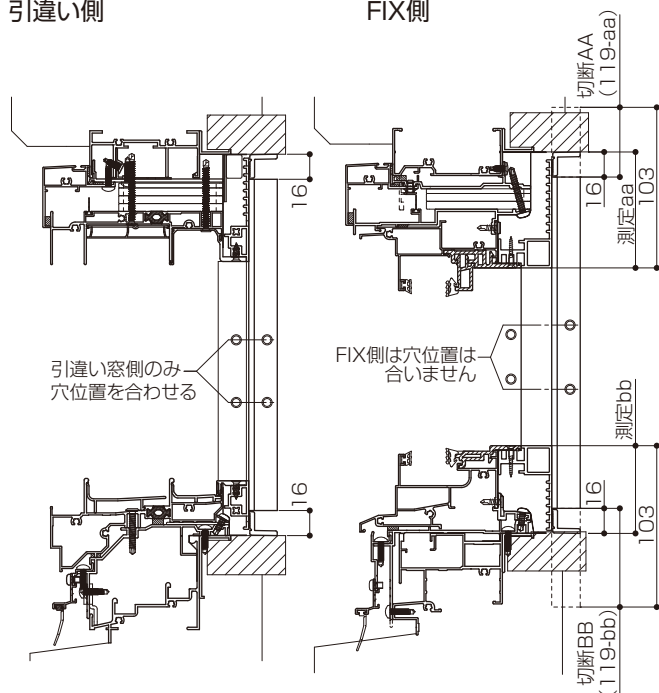
※見切材通しの場合(19)

19 連窓用見切材の取付け(つづき)



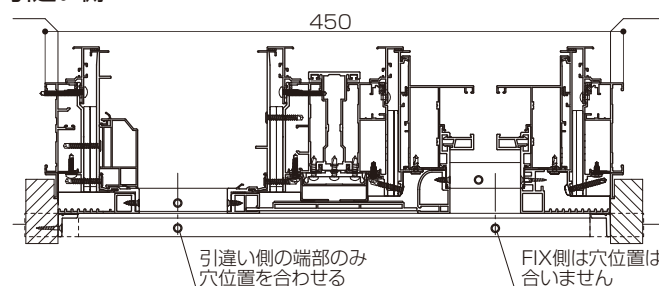
引違い側

FIX側

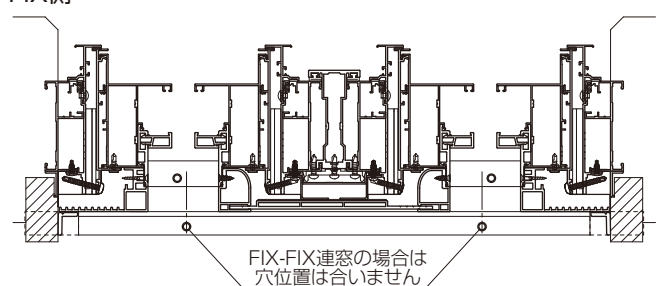


引違い側

450

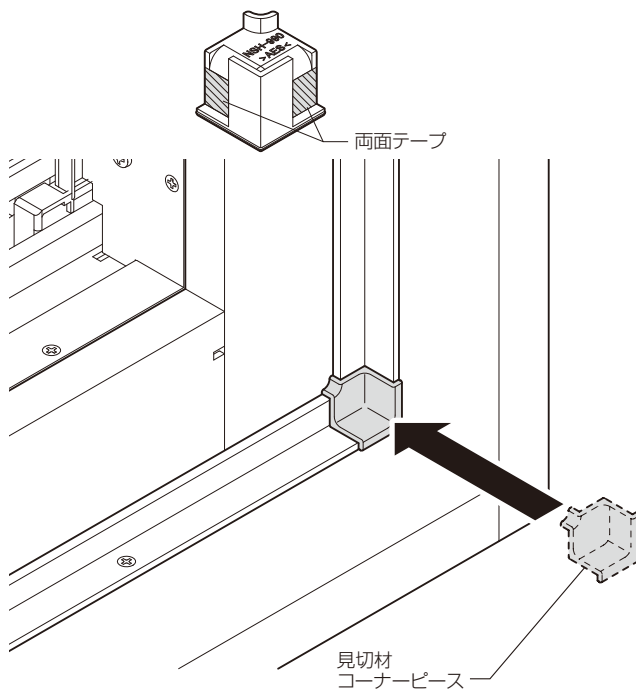


FIX側

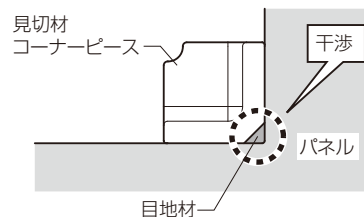


20 見切材コーナーピースの取付け(両面テープ仕様)

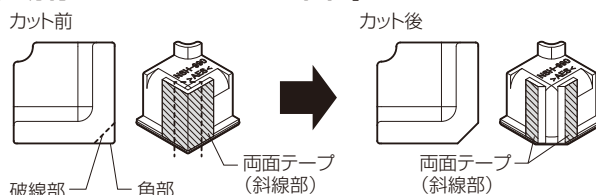
- ①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ③窓枠に強く押付けて圧着してください。
※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ(現場手配/厚さ0.3mm以下)を張付けて、見切材に圧着してください。



※キッチンなどでパネルのコーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部(下図破線部)をカットして干渉しないようにしてください。



【見切材コーナーピースカット位置】



※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。

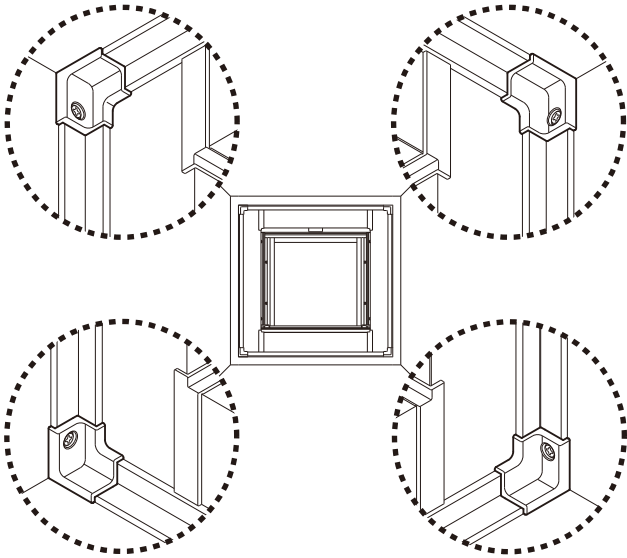
FIX側のアングルカバー端部キャップは、装飾窓アングルカバー説明書P.16を参照して、取付けてください。

21 見切材コーナーピースの取付け(ねじ止め仕様)

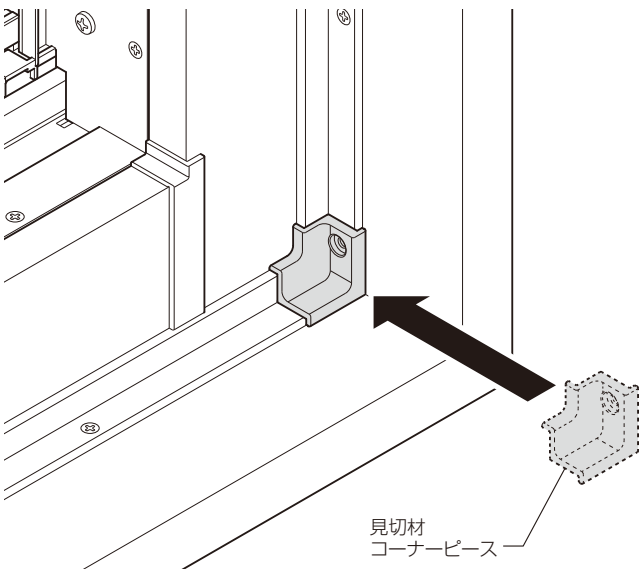
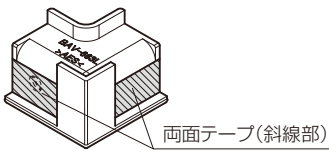
- ①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。

【推奨取付図】

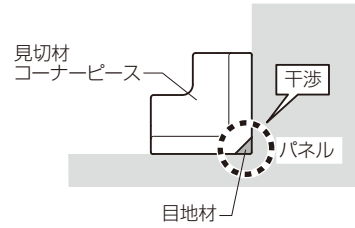
※サイズが小さく、取付しづらい場合は取付向きを変更してください



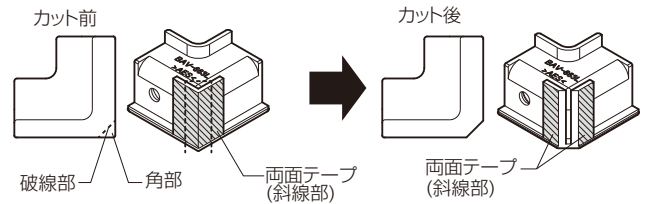
- ③窓枠に強く押付けて圧着してください。
※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ(現場手配/厚さ0.3mm以下)を張付けて、見切材に圧着してください。



※キッチンなどでパネルのコーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部(下図破線部)をカットして干渉しないようにしてください。

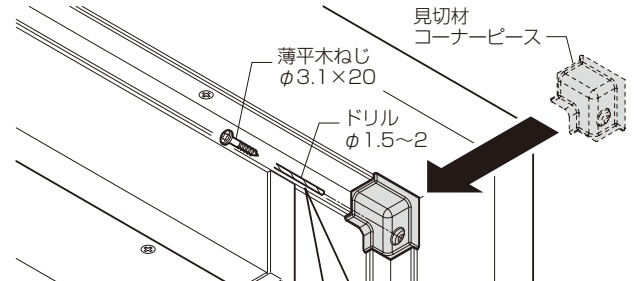


【見切材コーナーピースカット位置】



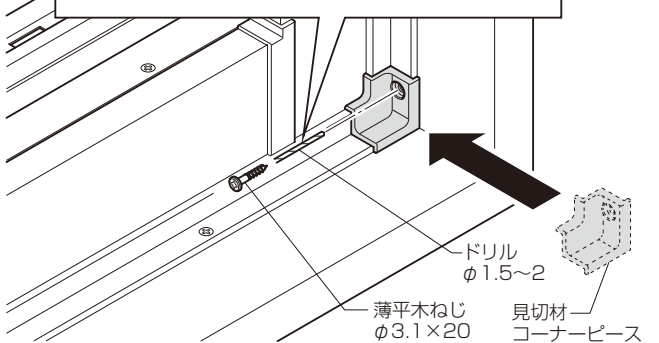
※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。

- ④取付け穴に合せて見切材と窓枠に下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじでねじ止めします。
※ねじ止め時に傷つけないためにアングルカバー・見切材を養生等で保護してください。



※アングルカバーの見付けが大きい場合には、傷つき防止のためにドリルやビットは100mm以上を使用してください。

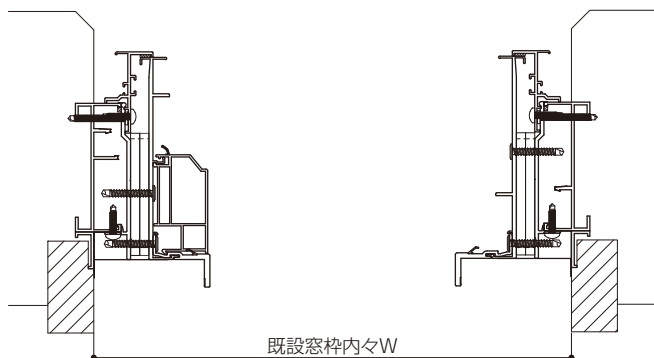
※アングルカバーの見付けが大きい場合には、傷つき防止のためにドリルやビットは100mm以上を使用してください。



※テラス用アタッチメント付の場合

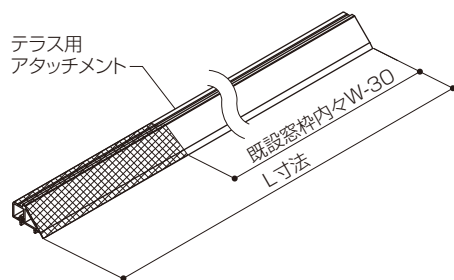
1 テラス用アタッチメント

- ①既設窓枠の内々寸法を採寸し、テラス用アタッチメントの長さを決めてください。



既設窓枠内々W	テラス用アタッチメント長さ (既設窓枠内々W-30)

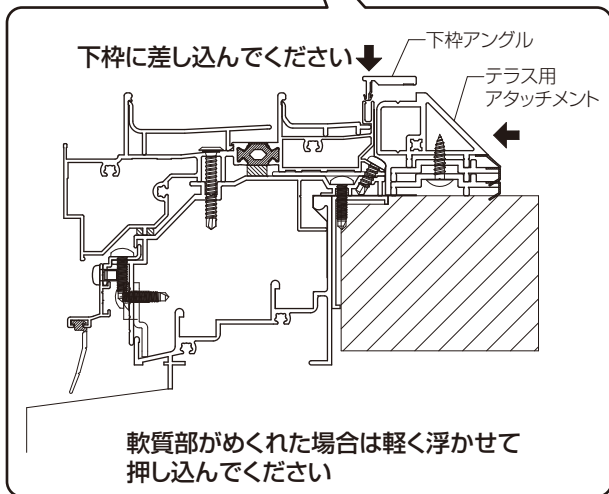
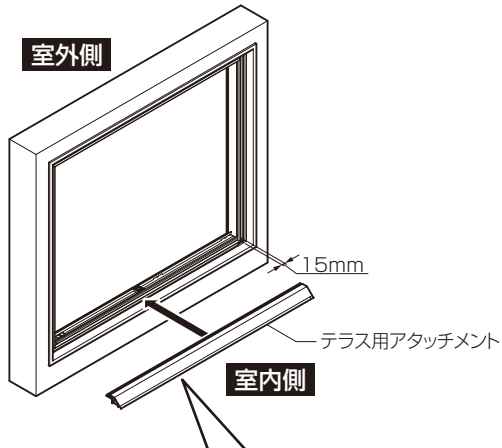
- ②テラス用アタッチメントを決定した長さに切断してください。



- ③テラス用アタッチメントの両端にテラス用アタッチメント端部キャップを差込み、面を合わせながらねじで固定してください。

2 テラス用アタッチメントの取付け

- ①テラス用アタッチメントを新設サッシ枠に当てるように既設窓枠に仮置きし、下枠アングルを新設サッシ下枠に差し込んでください。(窓枠(縦)とのチリは片側15mm)



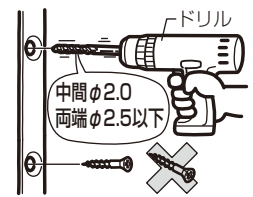
▲ 注意



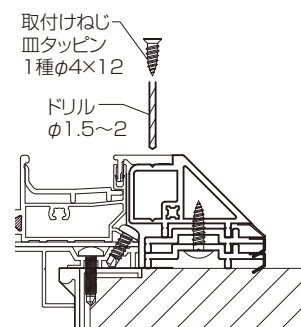
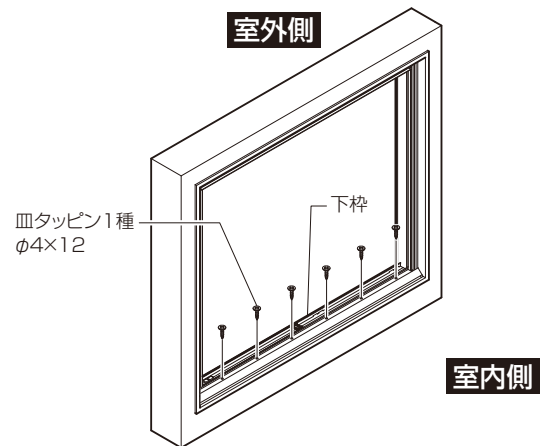
- ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、 $0.5\text{N} \cdot \text{m}$ ($5\text{kgf} \cdot \text{cm}$)程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

お願い

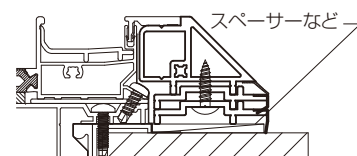
- ねじはまっすぐにねじ込んでください。



- ②新設サッシ下枠の取付け穴に合わせてテラス用アタッチメントに下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじで固定してください。



- ※しゃくり無しの場合は、スペーサーを入れて調整してください。

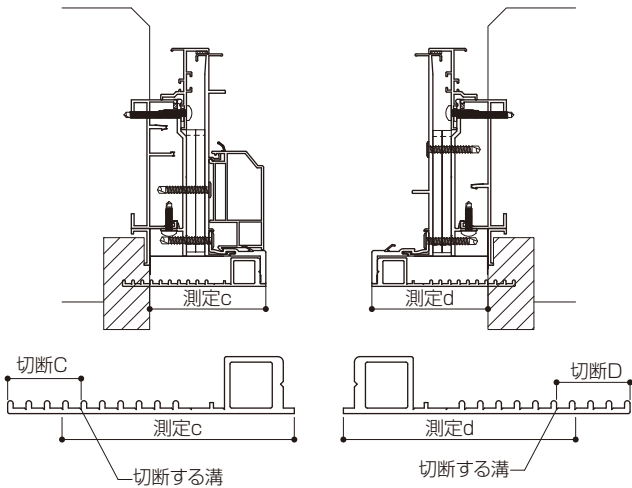
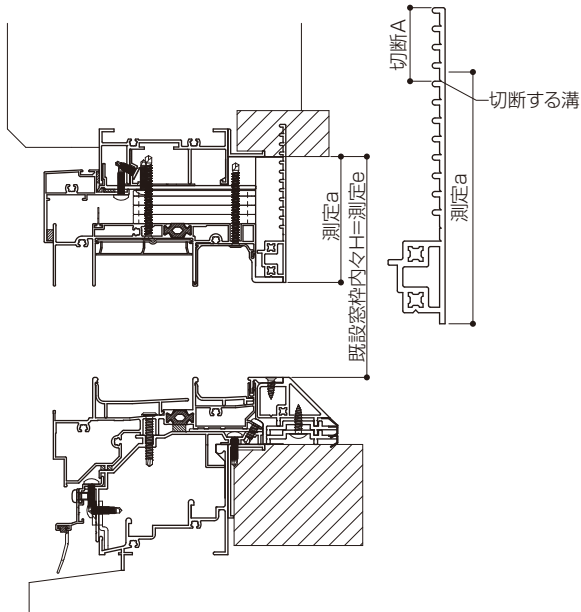


3 アングルカバーの切断寸法の確認

新設サッシ枠アングルから既設窓枠までのa,c,dを測定し、切断する溝を決めてください。

既設窓枠から下枠アングル上端までのeを測定し、縦アングルカバーの長さを決めてください。

上枠	左縦枠	右縦枠
a	c	d
既設窓枠から下枠アングル上端		縦アングルカバー長さ (測定e-1)
e		



4 アングルカバーの加工

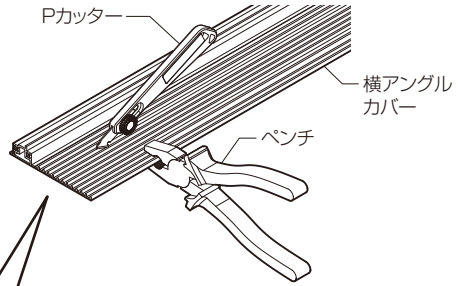
お願い

- 切断面は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- アングルカバー表面が白化することがありますので、十分に切目を入れ、切断する溝付近を持って、丁寧に折取ってください。

アングルカバーを決定した溝で切断してください。

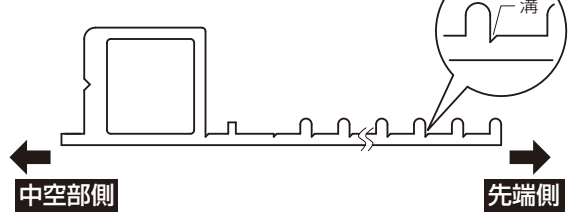
ポイント

下記【溝の位置】を参考に納まりにあう溝にPカッターで切目を入れ、ペンチなどで折取ってください。

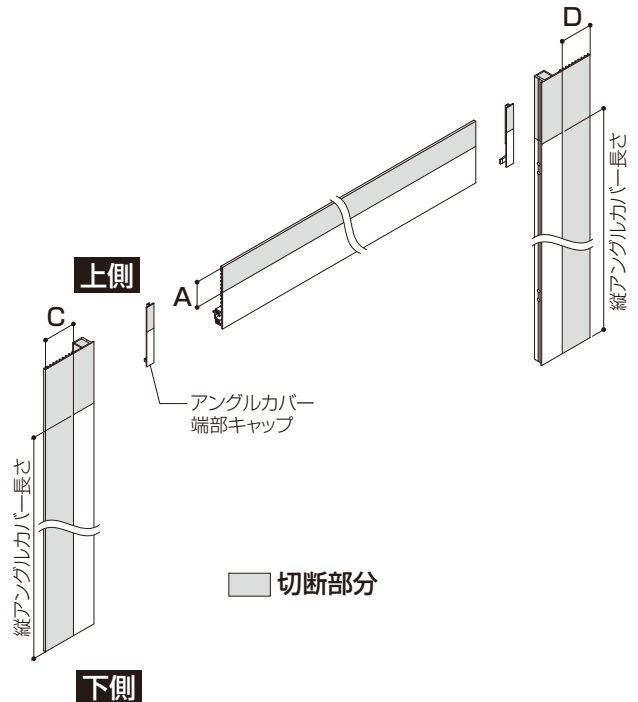


【溝の位置】

溝はリップの根元の中空部側にあります。



縦アングルカバーを決定した長さに切断してください。

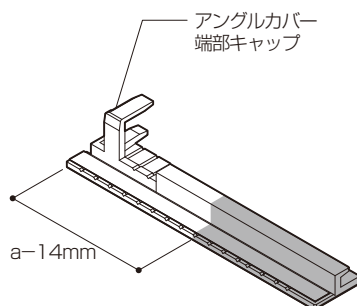


5 アングルカバー端部キャップの加工

アングルカバー端部キャップを切断してください。
例として、a寸法が68mmの場合を示します。

a寸法から"14mm"を引いた寸法になるように切断してください。

例：68mm－14mm＝54mm

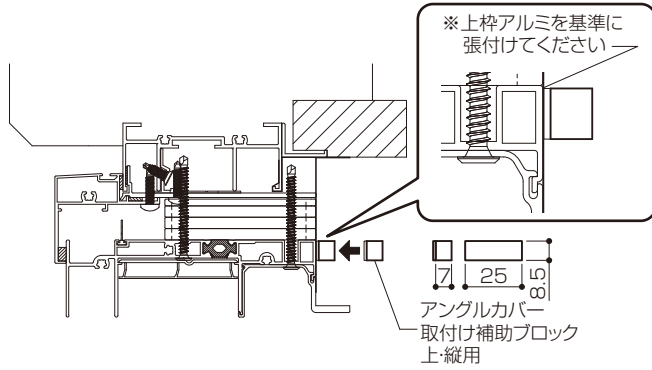


6 アングルカバーの取付け

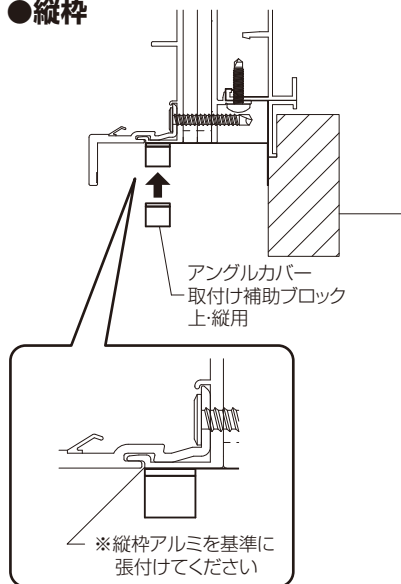
①新設サッシ枠にアングルカバー取付補助ブロックを、下図のように長手方向でおおよそ均等になるように張付けてください。

※取付け補助ブロックは、上・縦の各辺5個目安で入っています。

●上枠



●縦枠



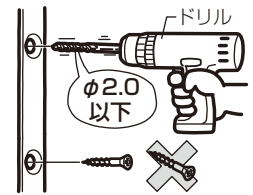
▲注意



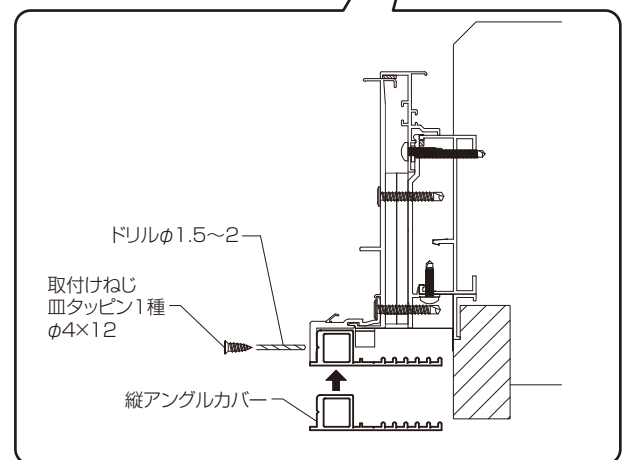
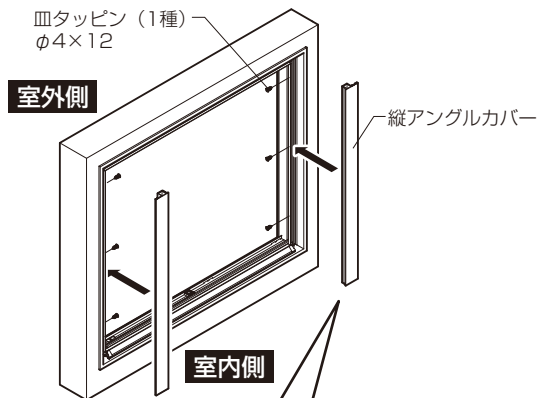
●ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、 $0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

お願い

●ねじはまっすぐにねじ込んでください。

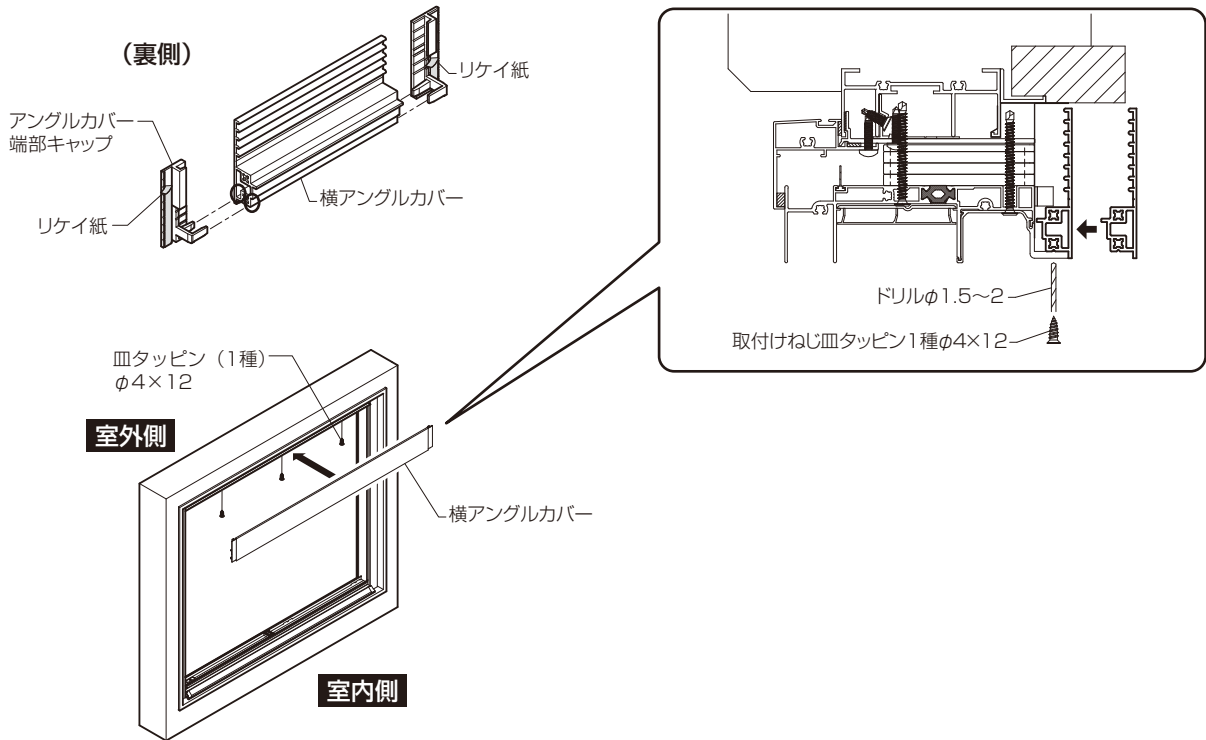


②縦アングルカバーをテラス用アタッチメントに載せるように新設サッシ枠にはめ込み、新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじで固定してください。

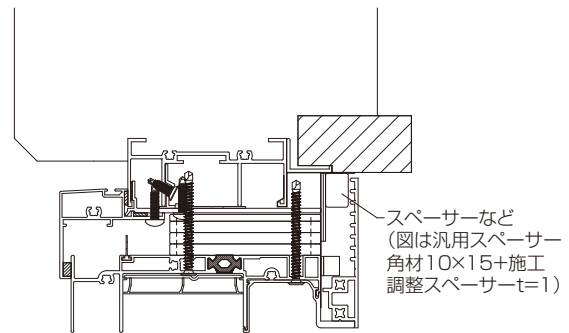
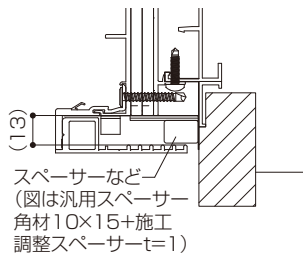


6 アングルカバーの取付け(つづき)

- ③横アングルカバーの両端にアングルカバー端部キャップをはめ込み、リケイ紙をはがして、横アングルカバーを左右均等にはめ込んでください。
- ④新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじで固定してください。
- ※見切材を使用しない場合やアングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを取付けて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。



※見切材を使用しない場合やアングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを取付けて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。

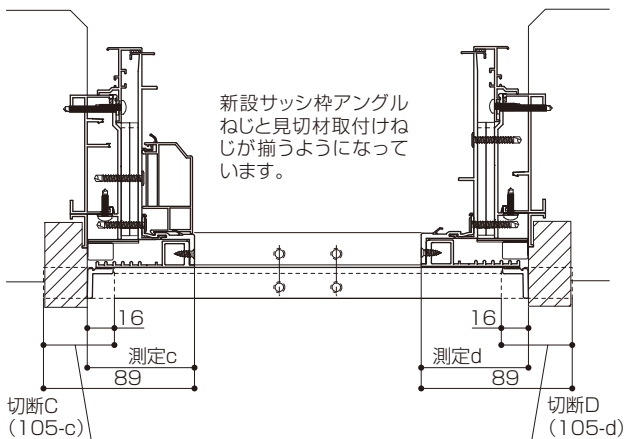
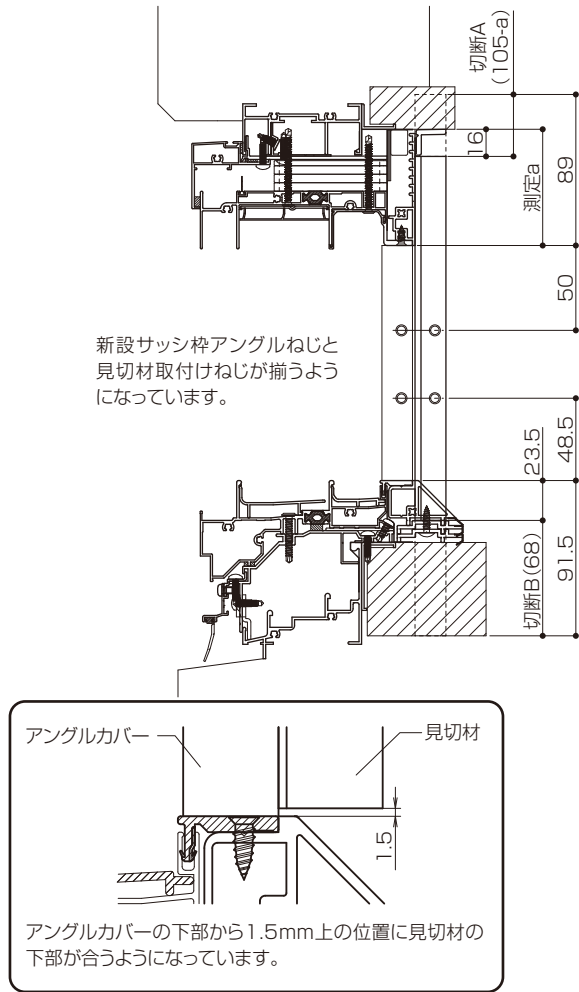


7 見切材の切断寸法の確認

P.27で測定したa,c,dから、切断A,C,Dを決めてください。

	上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
採寸	a		c	d
切断	A(105-a)	B 93	C(105-c)	D(105-d)

※縦見切材の下は93mmになります。

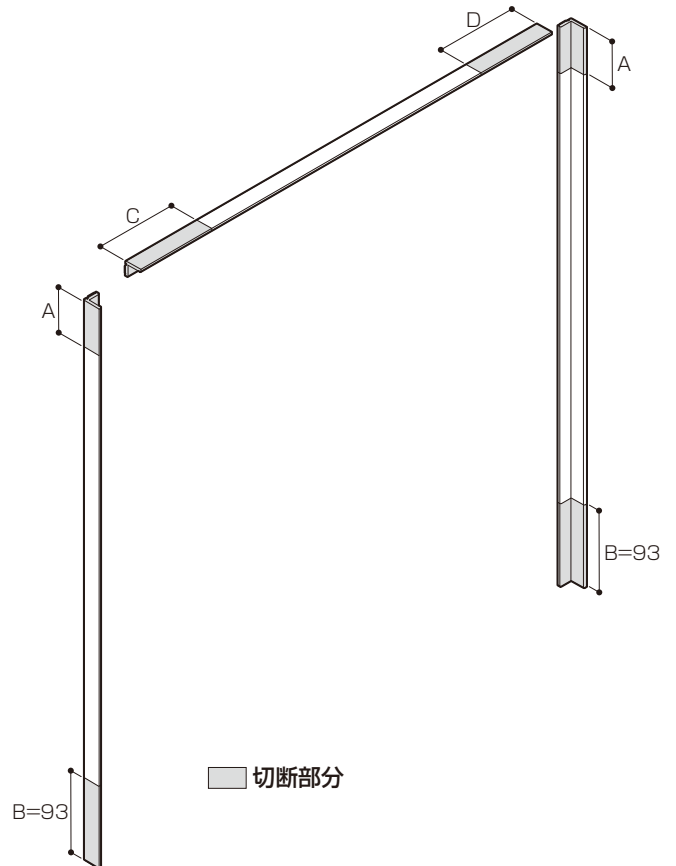


8 見切材の加工

見切材を決定したA～Dに合わせて切断してください。

お願い

- 切断小口は鋭利は部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- 見切材は上下寸法、左右寸法をそれぞれ端部から切断機などで切断してください。合計の切断寸法で片側から切断すると、新設サッシ枠のアングルねじと見切材固定ねじの位置にズレが発生します。

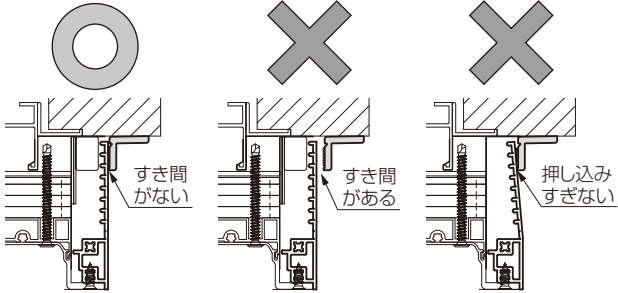


9 見切材の取付け

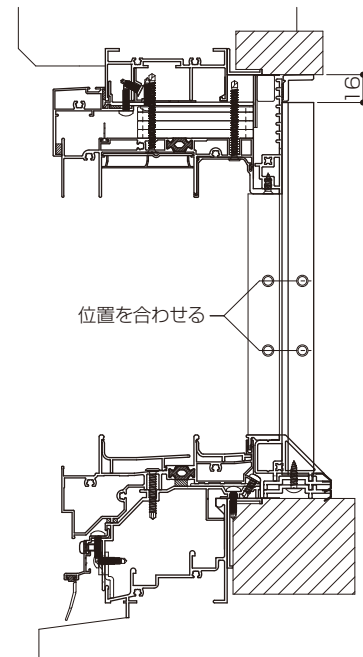
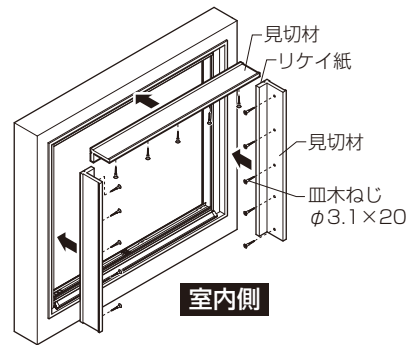
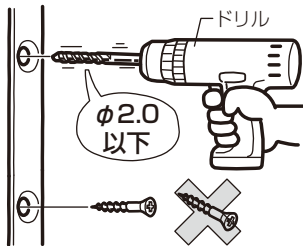
- ①見切材のリケイ紙をはがして、窓枠に当ててスライドさせながらアングルカバーとすき間が出ないようにアングルカバーに押し付けて圧着してください。
- ②圧着したら、取付け穴に合わせて窓枠に下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじで固定してください。

お願い

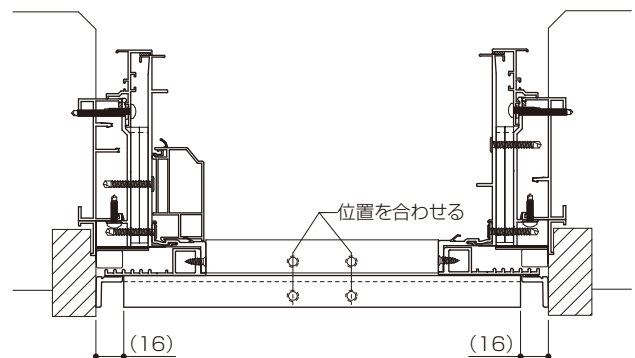
- 見切材はすき間なく取付けてください。その際、見切材を押し込んで、アングルカバーが曲がらないようにしてください。



- ねじはまっすぐにねじ込んでください。
- ねじの締めすぎに注意してください。



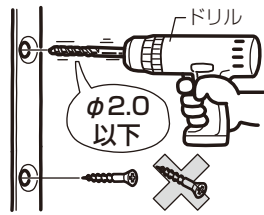
※上枠を見上げた状態を示します。



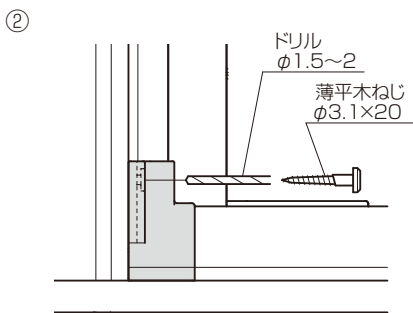
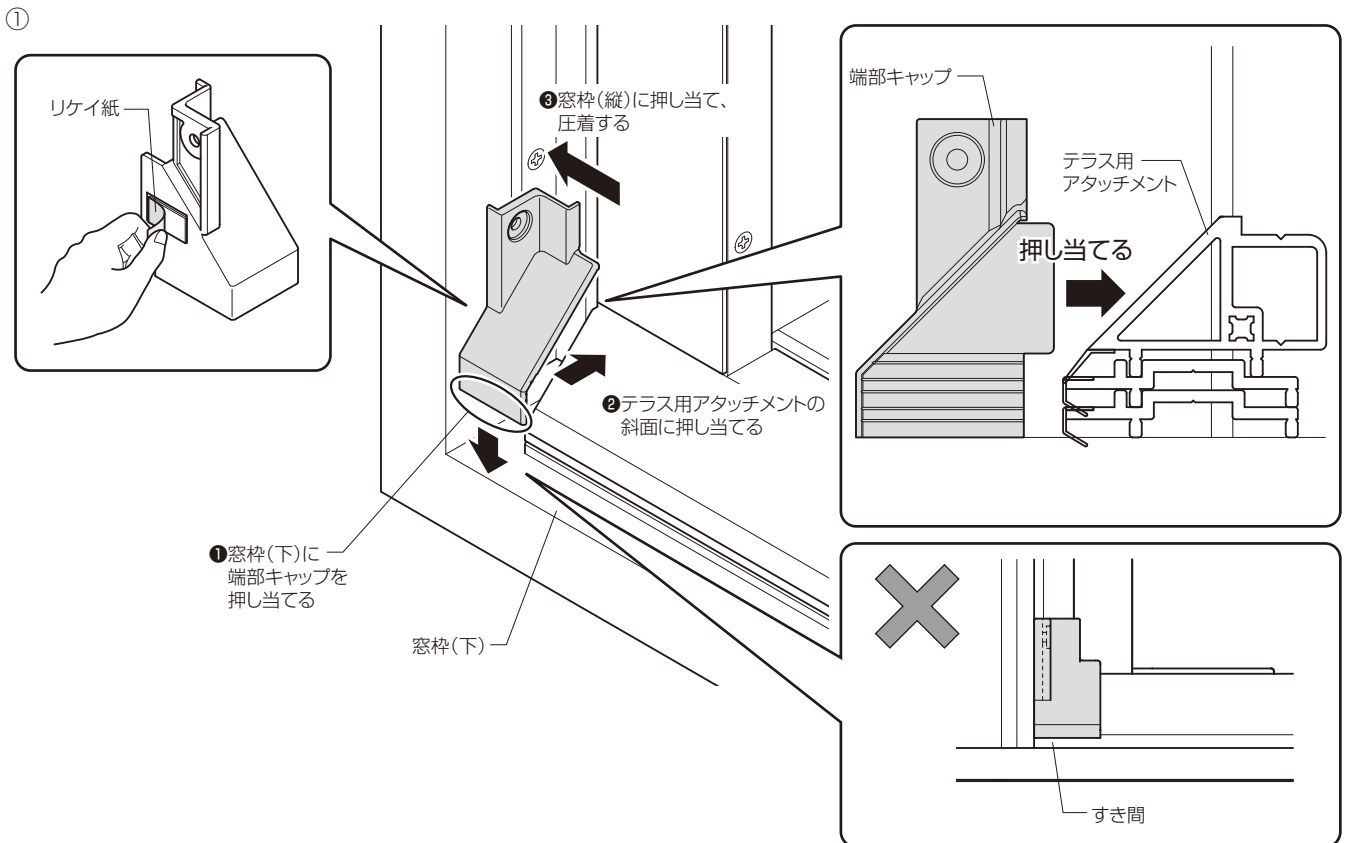
10 テラス用アタッチメント端部キャップの取付け

お願い

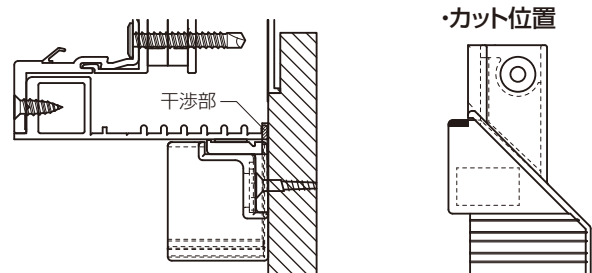
●ねじはまっすぐにねじ込んでください。



- ①端部キャップのリケイ紙をはがして、窓枠(下)とテラス用アタッチメントの斜面に端部キャップを当ててスライドさせながら窓枠(縦)に圧着してください。
- ②端部キャップの取付け穴に合わせて見切材と窓枠に下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじで固定してください。



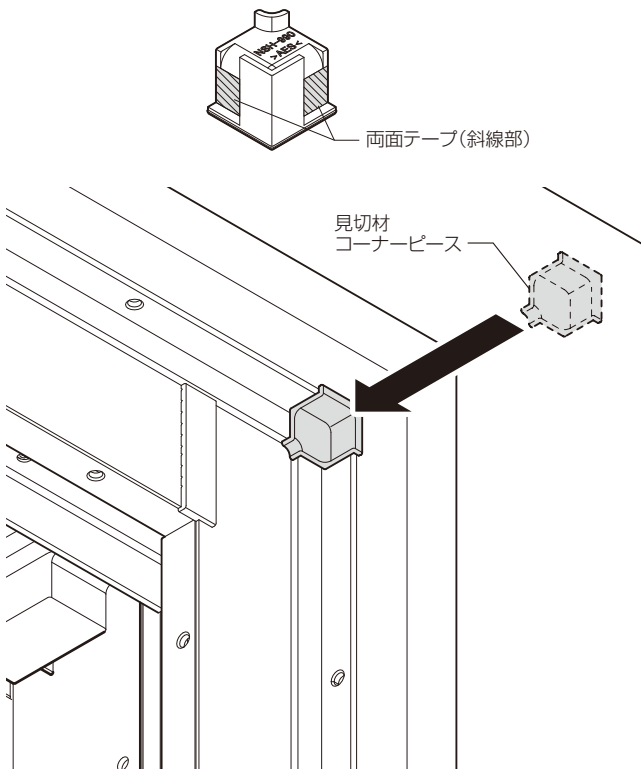
縦アングルカバーのカット位置によって端部キャップと干渉する場合があります。その際は端部キャップをカットしてから取付けてください。



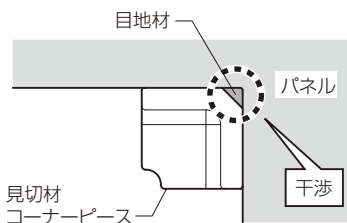
電動ドライバーが縦アングルカバーと干渉することを避けるため、ドリルは90mm以上のものを推奨します。

Ⅳ 見切材コーナーピースの取付け(両面テープ仕様)

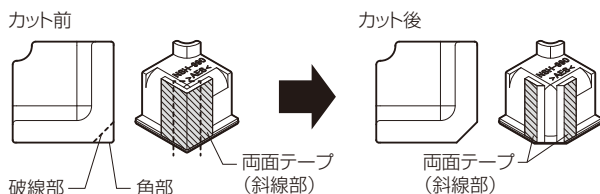
- ①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
- ※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
- ※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ③窓枠に強く押付けて圧着してください。
- ※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ(現場手配/厚さ0.3mm以下)を張付けて、見切材に圧着してください。



※コーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部(下図破線部)をカットして干渉しないようにしてください。



【見切材コーナーピースカット位置】



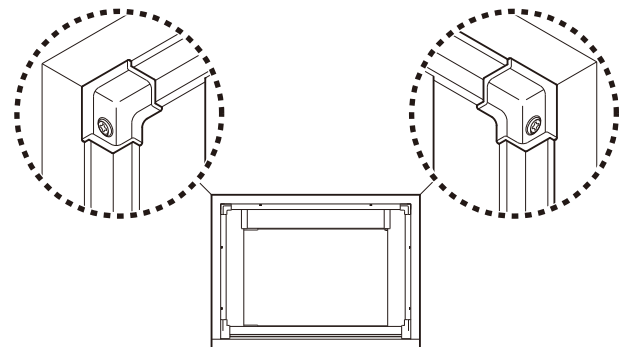
※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。

Ⅳ 見切材コーナーピースの取付け(ねじ止め仕様)

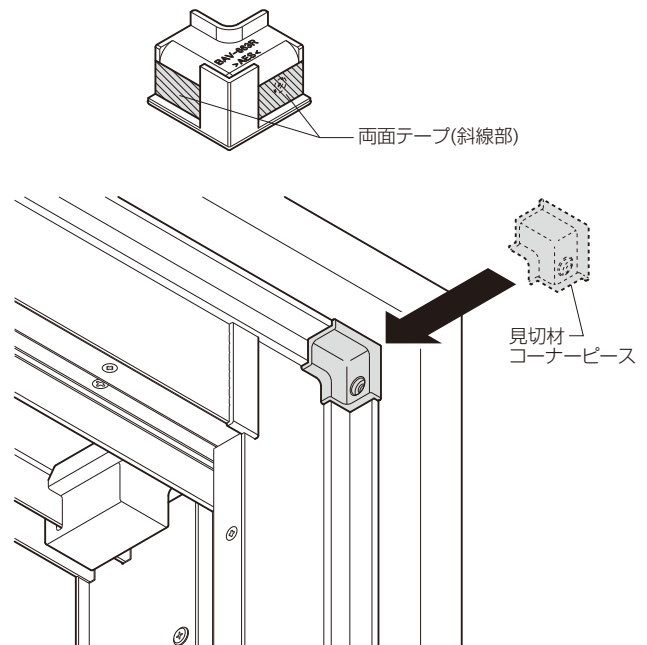
- ①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
- ※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
- ※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。

【推奨取付図】

※サイズが小さく、取付しづらい場合は取付向きを変更してください

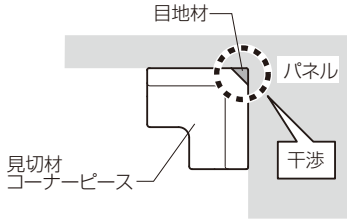


- ③窓枠に強く押付けて圧着してください。
- ※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ(現場手配/厚さ0.3mm以下)を張付けて、見切材に圧着してください。

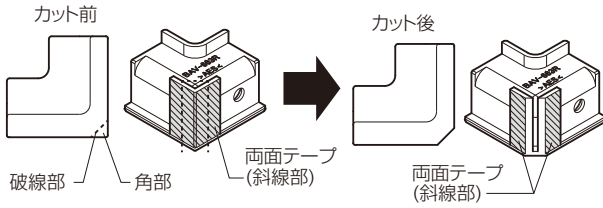


Ⅷ 見切材コーナーピースの取付け(ねじ止め仕様)(つづき)

※コーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部(下図破線部)をカットして干渉しないようにしてください。

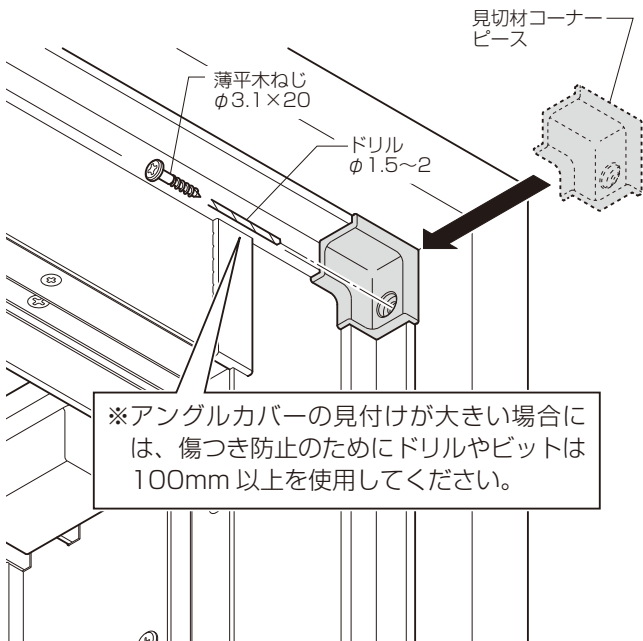


【見切材コーナーピースカット位置】



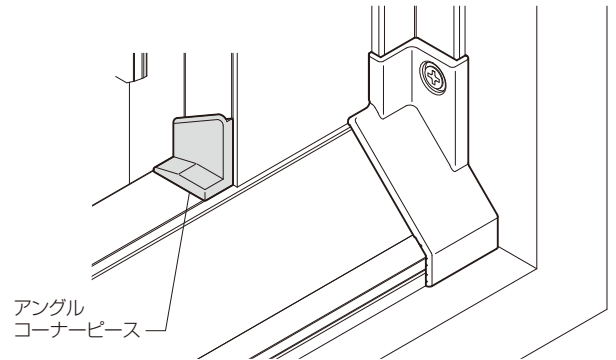
※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。

- ④取付け穴に合わせて見切材と窓枠に下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじでねじ止めします。
※ねじ止め時に傷つけないためにアングルカバー・見切材を養生等で保護してください。



Ⅷ アングルコーナーピースの取付け

アングルコーナーピースを枠のアングル面に合わせ、張付けてください。



MEMO
